

世界が 懸念 していること

2025年5月

世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、
www.ipsos.com
でもご覧いただけます。

詳細については、
Teodros.Gebrekal@ipsos.com
までお問い合わせください。

=Report_1175

主な調査結果

01. アイルランドが調査対象に

世界が懸念していること調査は現在、アイルランドを加えた30か国を対象とした調査となっています。私たちは2024年1月からアイルランドを追跡しており、この度正式にこの国をメインレポートに追加しました。彼らの主な問題は医療です。

02. 記録的なテロへの懸念

インドでは、懸念レベルが26%に上昇しており、これは2019年10月(同じく26%)以来の最高値です。さらに、コロンビアの不安は国内史上最高レベルに達し、9ポイント上昇して27%となっています。

03. 税金を心配する米国国民

税金を上げる米国国民の割合は、この1か月で4ポイント上昇して5分の1(20%)となり、これは米国の過去10年間の最高水準です。

04. カナダ、選挙後に楽観ムード高まる

自国が「正しい方向に向かっている」と答えたカナダ人の割合は3年ぶりの高水準に上昇し、現在44%が楽観的な見方を示しています。

05. 韓国で広がる悲観的な見方

来週の大統領選挙を前に、国が「正しい方向に向かっている」と考える人はわずか15%、経済が「良好」と答えたのはわずか8%です。[特集ページ](#)で韓国についてさらに詳しくご覧ください。

06. アルゼンチンにおける格差拡大への懸念

不平等について懸念を表明するアルゼンチン国民の割合は、この1か月で7ポイント増加し、10年ぶりの高水準の46%に達しています。今では失業問題と並んで彼らの最優先事項となっています。

世界が懸念していること 2025年5月

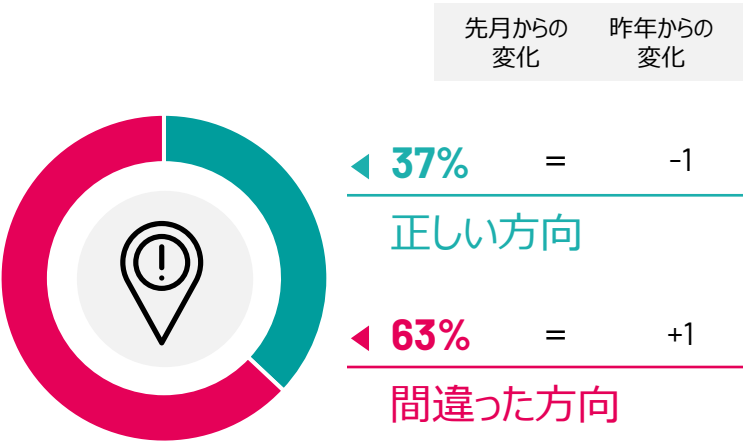
最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

		先月からの 変化	昨年からの 変化
インフレ	33%	=	-1
犯罪と暴力	33%	+1	+3
貧困と社会的不平等	29%	+1	-1
失業率と雇用	27%	=	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	26%	-1	+1

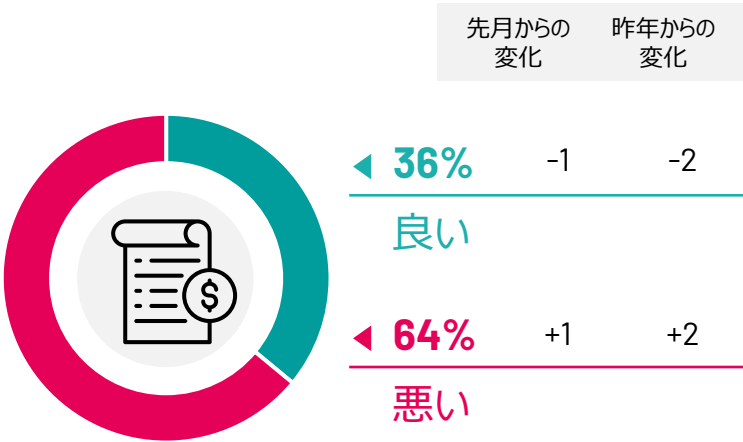
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



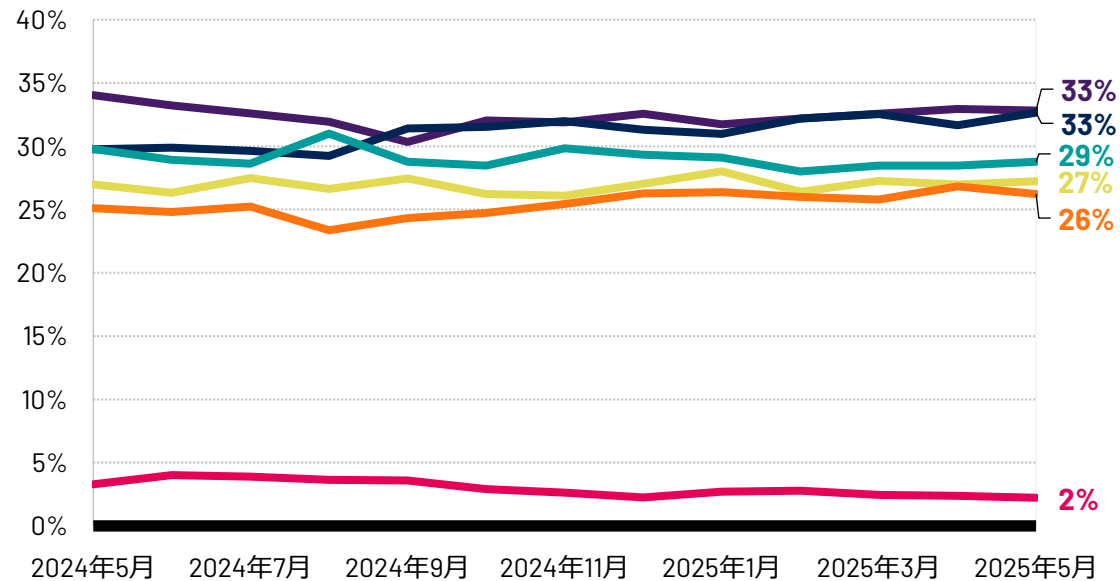
対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月



世界が懸念していること 12か月のトレンド

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

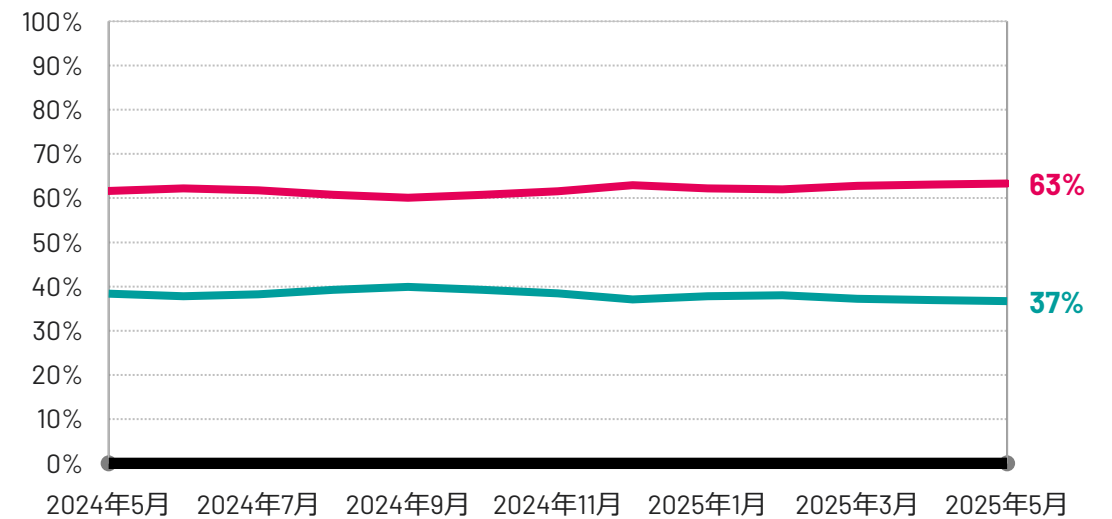


対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

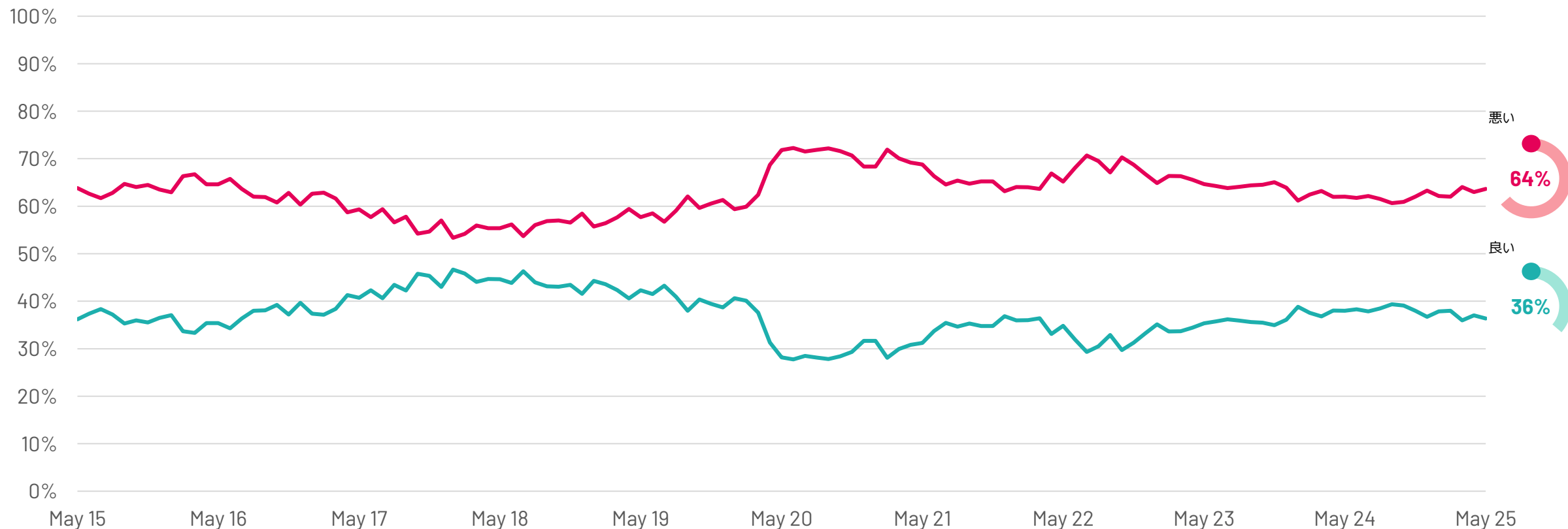
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていていると思いますか。



世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

消費者 フォーカス

Part 1

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。

2022年4月以降、当社の調査ではインフレが世界的に主要な懸念事項となっています。過去37か月間、当社の調査でインフレが最大の問題でなかった月は1か月しかありませんでした。

懸念は2022年のピーク時よりはるかに低く、インフレ率は実際には世界的に低下しているものの、価格に対する懸念は依然として消費者にとって最も重要な問題であり続けています。

本レポートでは、消費者がどのように感じているかに焦点を当ててお届けします。今年は経済の不確実性と米国の関税の潜在的な影響に悩

まされてきました。イプソスが近々発表する新たな世論調査によると、米国の主要同盟国の多くが、米国の経済政策は世界経済、自国の経済、そして自国の財政状況にマイナスの影響を与えていると考えていることが分かりました。

2025年5月には、G7諸国すべてが、可処分所得が今後1年間で減少すると考える人の割合が、2024年11月に同じ質問をしたときよりも高くなっています。

カナダでは、可処分所得が減少すると考えている人は48%で、7か月前の36%から増加しています。

48%

のカナダ国民が、今後1年間で可処分所得が減少すると考えています。

消費者 フォーカス

Part 2

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。

生活水準に関しても同様です。G7諸国はすべて、2024年11月よりも自国の生活水準は下落すると考える割合が高くなっています。

この期間中、生活水準が低下すると考える米国国民とカナダ国民の割合は、それぞれ10ポイントと13ポイント増加しました。同時に、より多くの米国国民とカナダ国民がインフレも上昇すると考えています(両方とも2024年11月より+9ポイント)。

世界で最も先進的な経済圏に住む人々だけがそう感じているのではありません。私たちが調査した多くの国では、人々は昨年末に比べて使える現金が少なくなると考える傾向

が強まっています。

年始に発表した「予測レポート」では、その1年に対する期待を調査していますが、2025年の世界経済が2024年よりも強くなるかどうかについて、人々の意見は分かれていました。そして現在、年の半ばに差し掛かる中で見えてきたのは、グローバルな課題が個人レベルに影響を及ぼしているという現実です。

32%

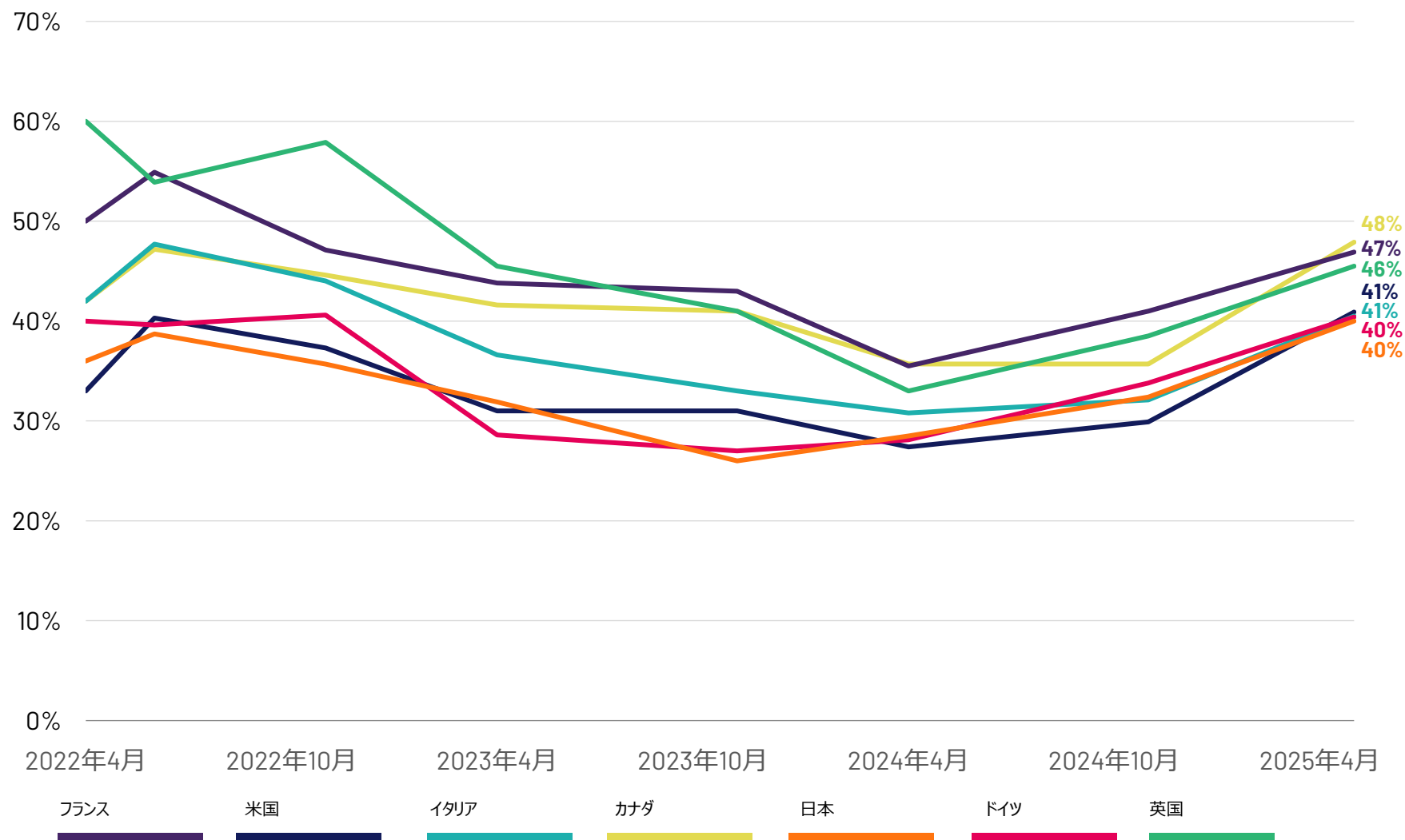
29か国で32%が、来年生活水準が低下すると考えている人がいます。

今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

可処分所得(生活費を支払った後に使える金額)

% 大きく／少し**低下する**

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。



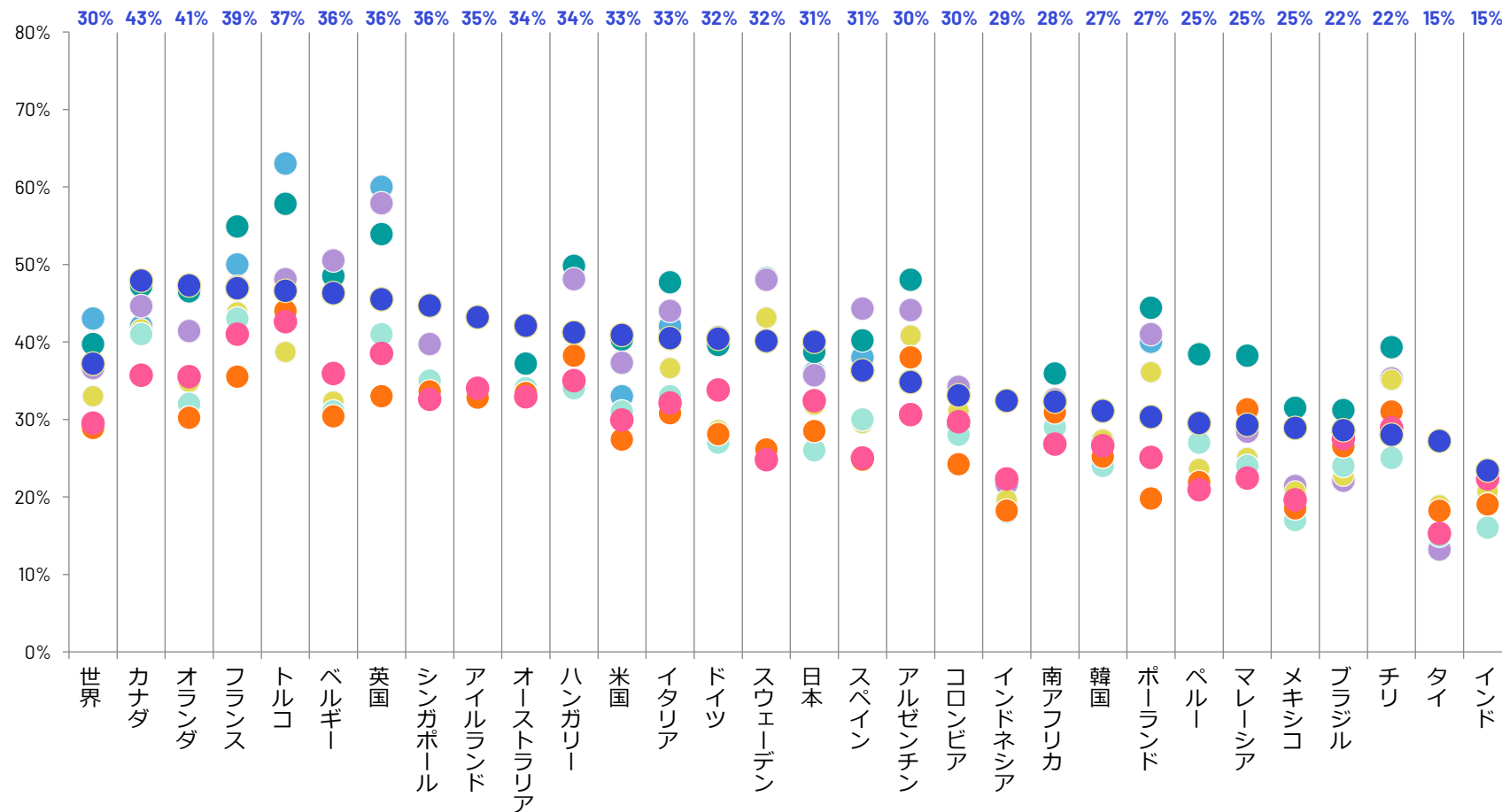
今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

可処分所得(生活費を支払った後に使える金額)

% 大きく／少し低下する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

■ 2022年4月 ■ 2022年6月 ■ 2022年11月 ■ 2023年4月 ■ 2023年11月 ■ 2024年4月 ■ 2024年11月 ■ 2025年5月

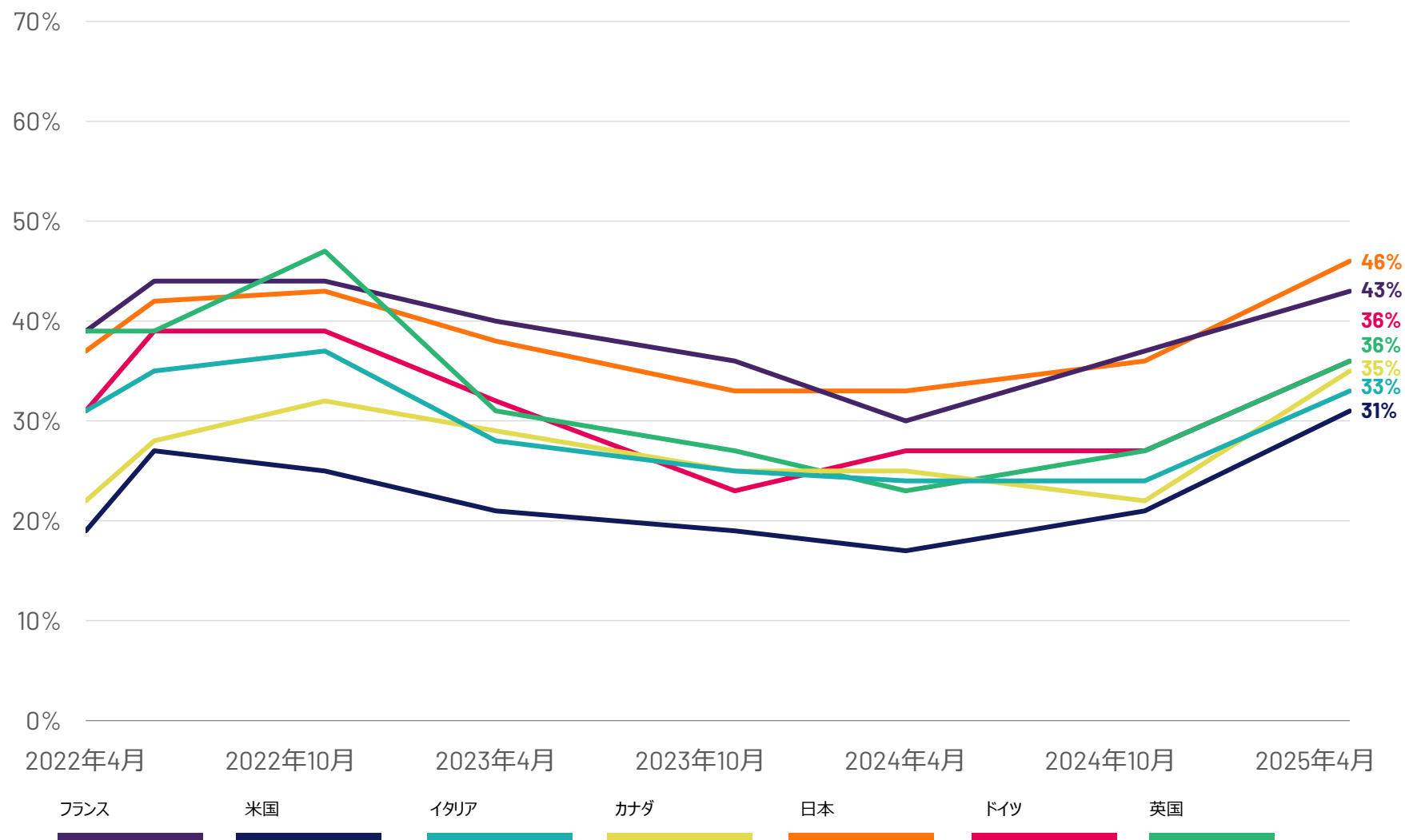


今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

あなた自身の生活水準

% 大きく／少し低下する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

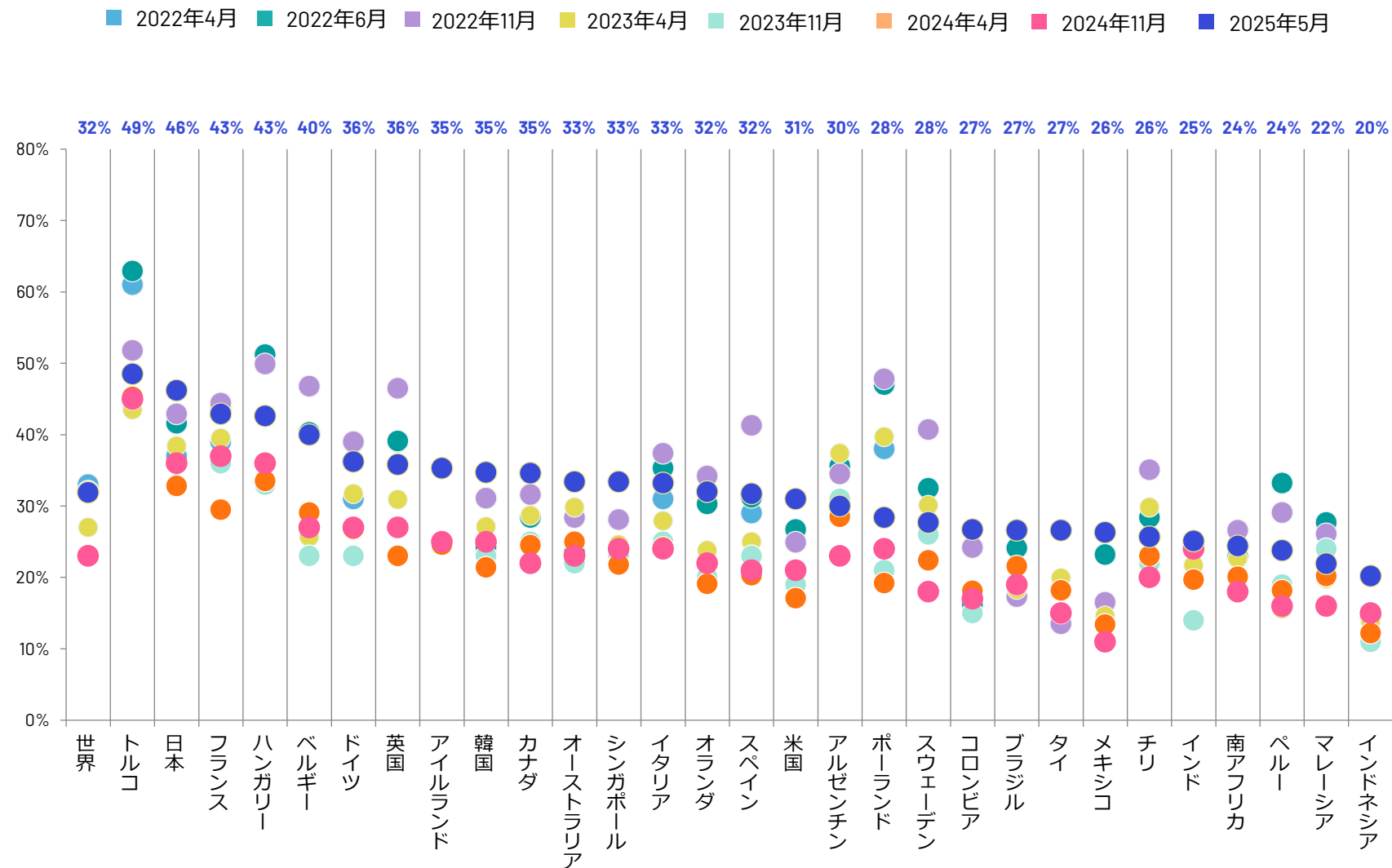


今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

あなた自身の生活水準

% 大きく／少し低下する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

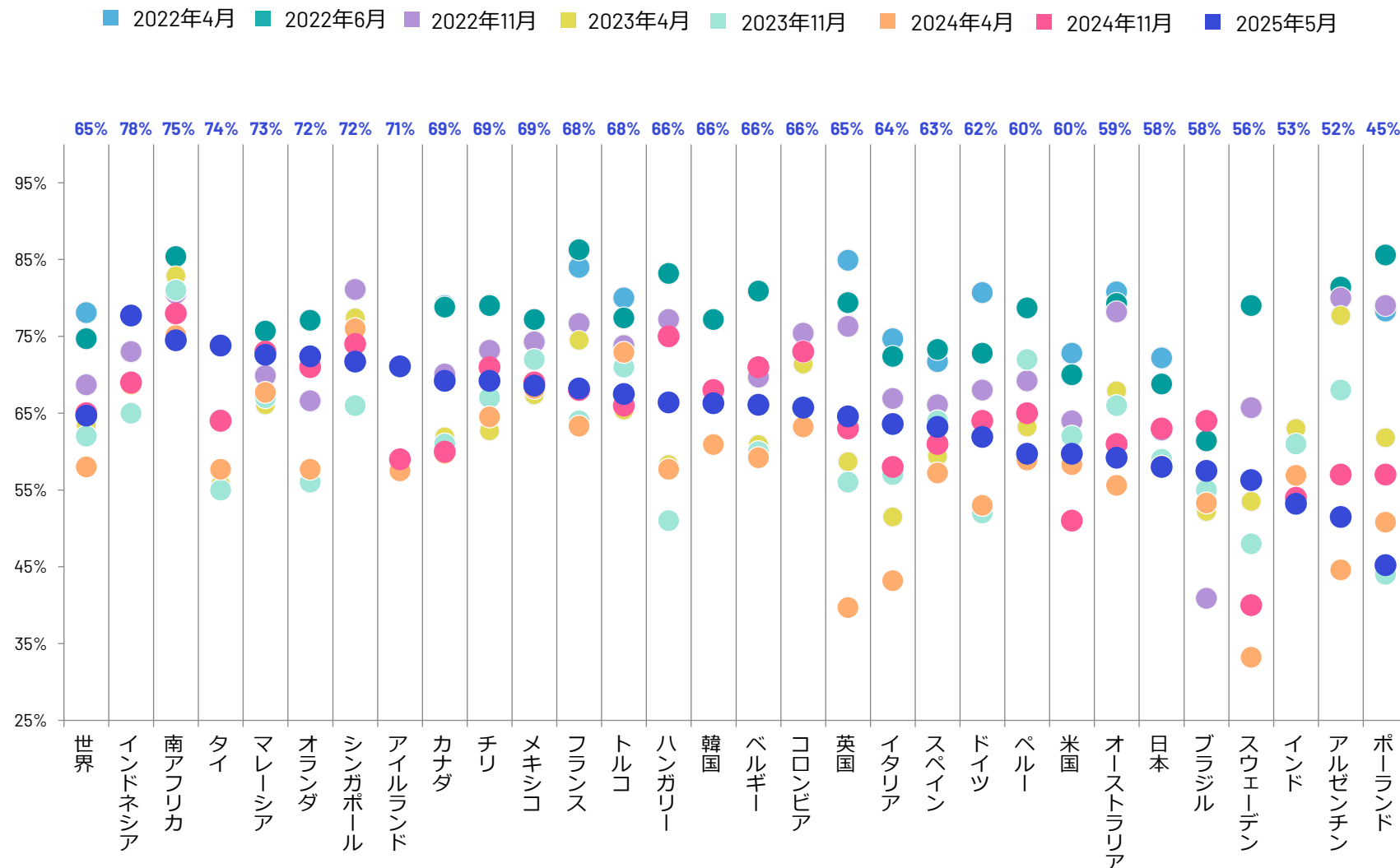


今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

インフレ率(物価がどれだけ上昇しているか)

% 大きく／少し上昇する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

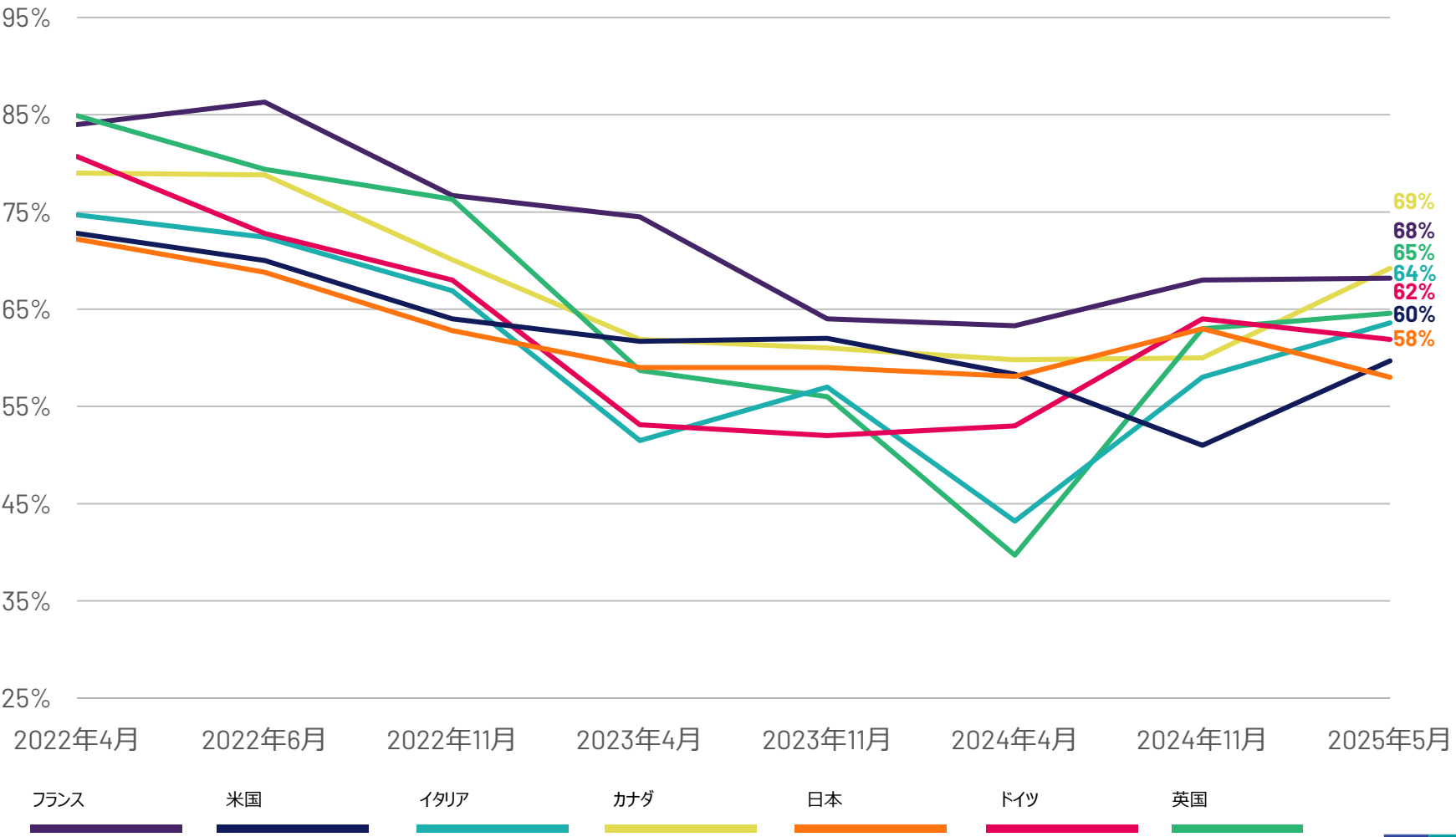


今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

インフレ率(物価がどれだけ上昇しているか)

% 大きく／少し上昇する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

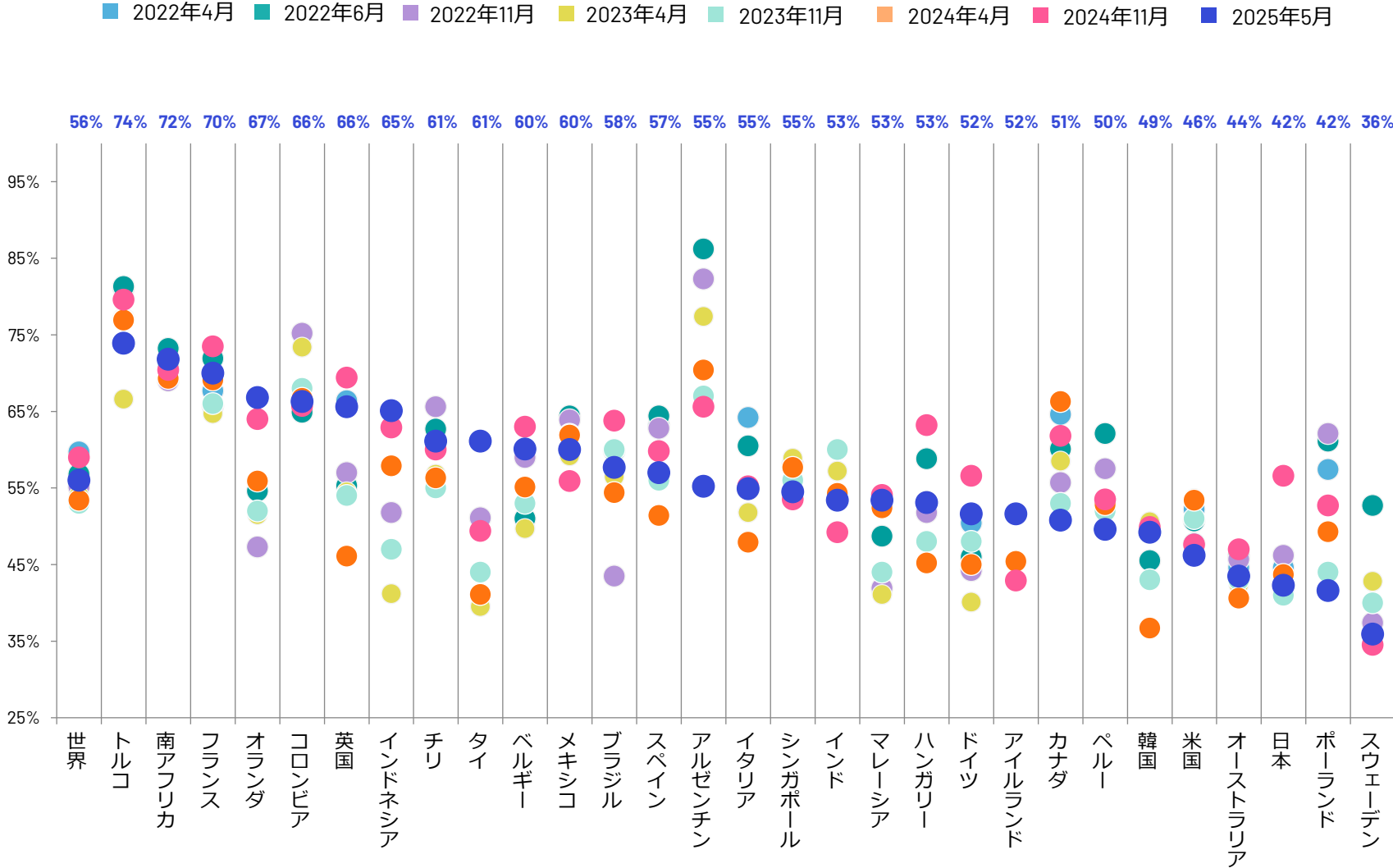


今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまるとと思いますか？

あなたが支払う税金

% 大きく／少し上昇する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

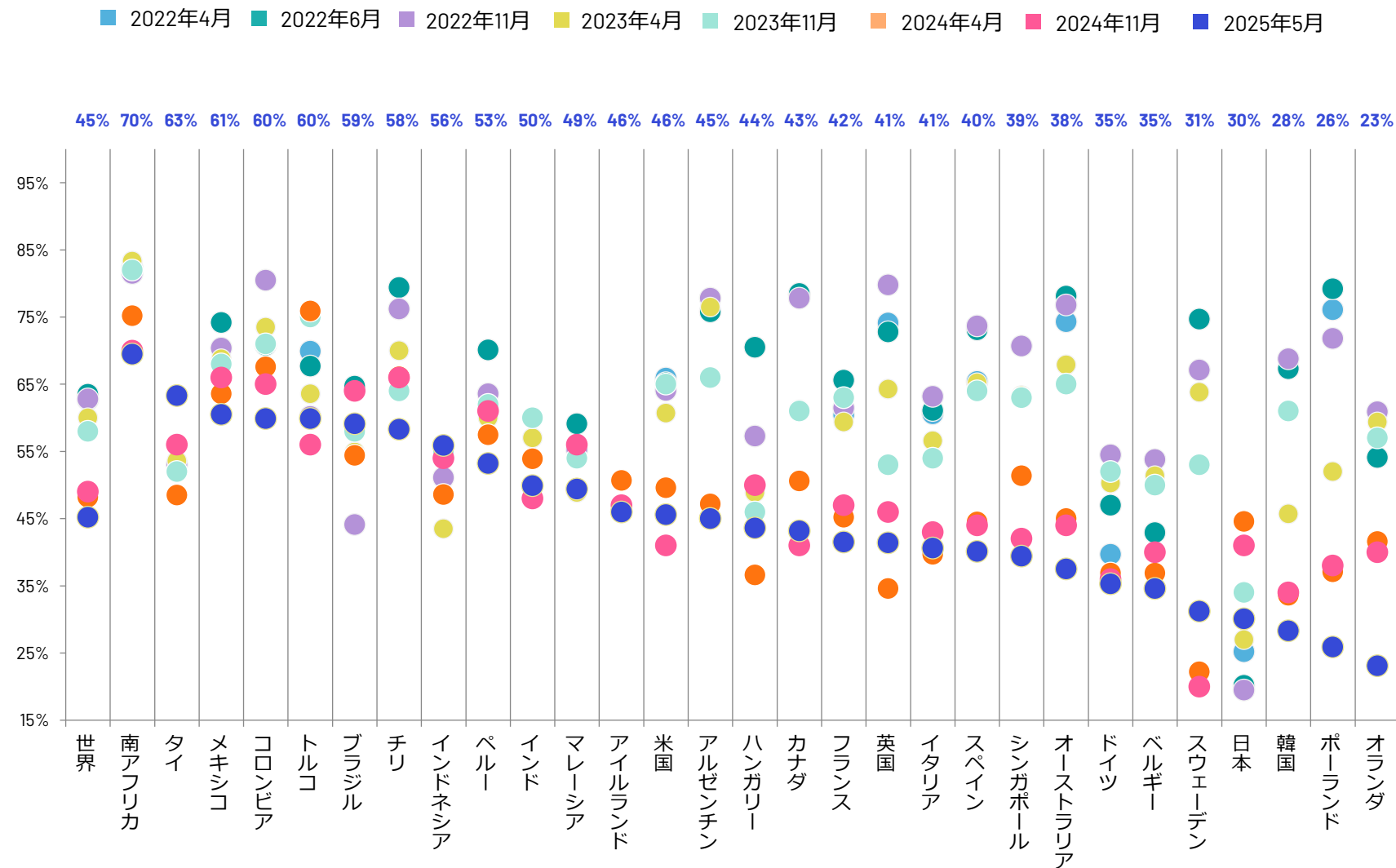


今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

金利

% 大きく／少し上昇する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

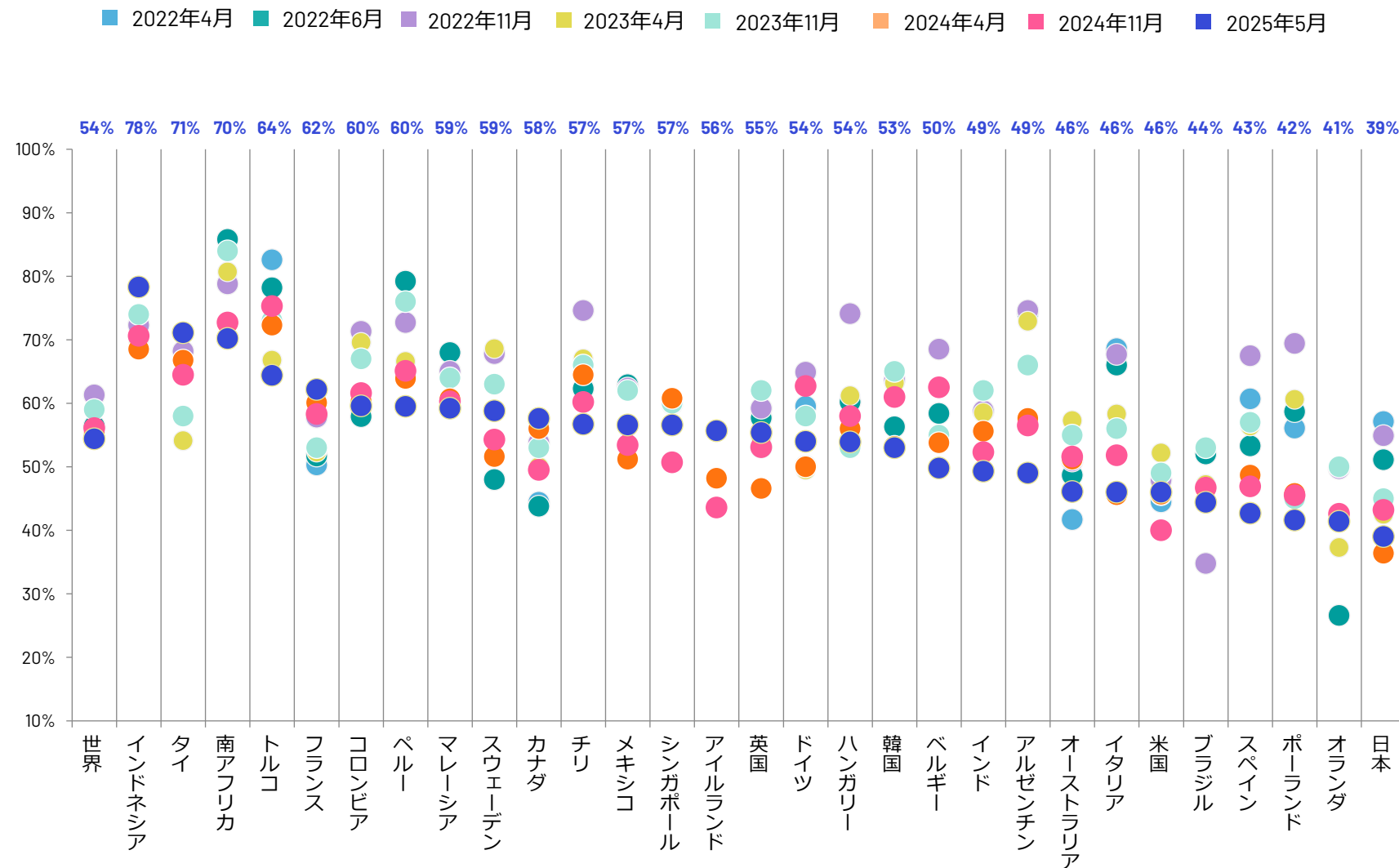


今後1年間で、次の各項目は上昇すると思いますか、低下すると思いますか、それともほぼ同じ水準にとどまると思いますか？

自国の失業者数

% 大きく／少し上昇する

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。



各国が進む方向

全対象国

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月、30か国全体で自国が「正しい方向に向かっている」と答えた人の割合は37%にとどまっています。

4月28日、カナダで連邦選挙が行われ、自由党が勝利しました。先月の調査以来、自国が「正しい方向に向かっている」と考えるカナダ国民の割合は8ポイント増加して44%となりました。これは、2022年5月の45%以来、カナダの最高スコアです。

これとは対照的に、メキシコでは楽観的な見方を示す人が前月から6ポイント低下して45%となり、2022年8月(43%)以来の最低水準となり、ほぼ3年ぶりの低水準となっています。

す。

先月、韓国は過去10年間で最低のスコアを記録し、国が正しい方向に進んでいると回答した人が11%でした。今月5月には希望を表明する人が4ポイントわずかに回復し、15%となっています。

44%

のカナダ国民が自国は「正しい方向に向かっている」と回答しています。

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

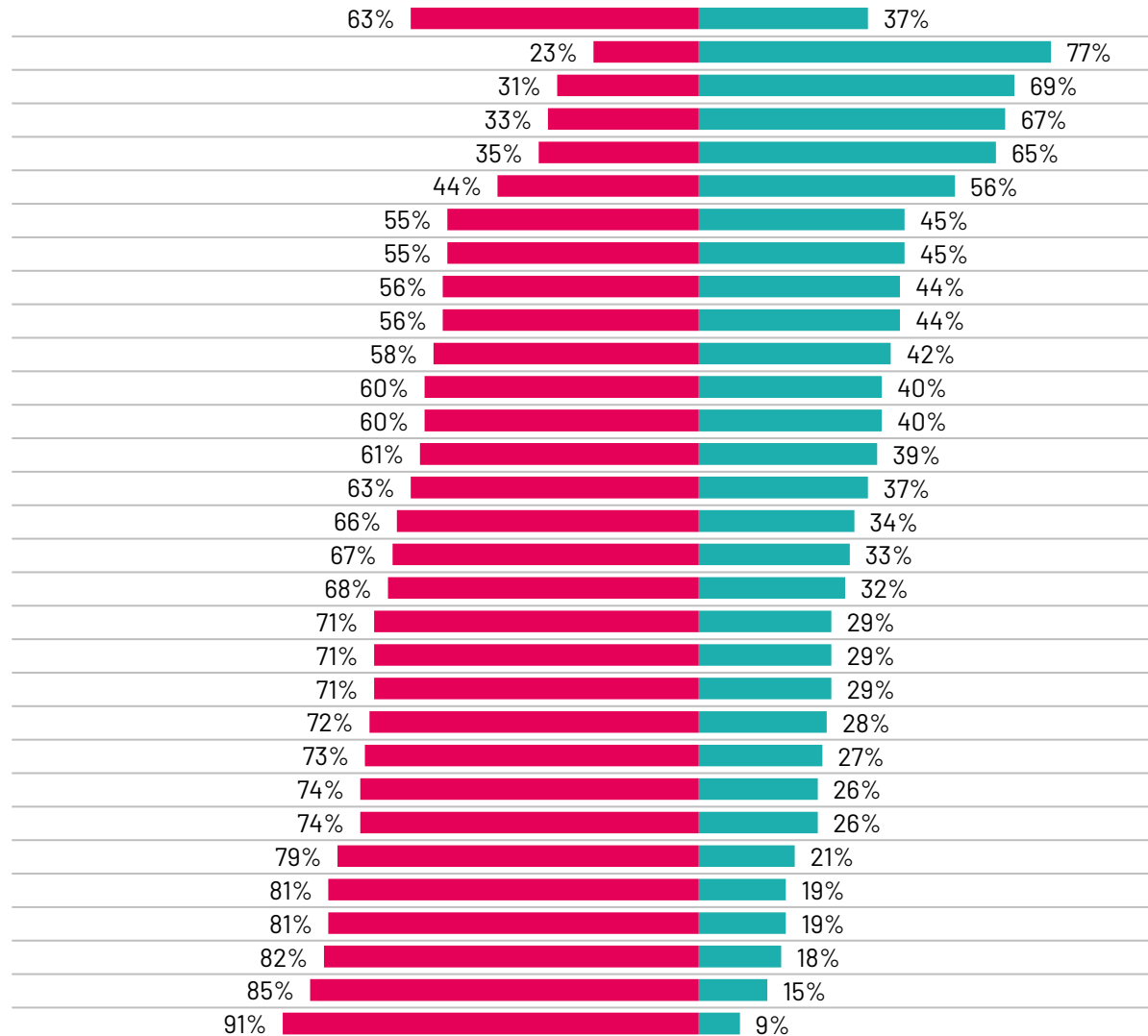
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

世界
シンガポール
マレーシア
インドネシア
インド
アルゼンチン
タイ
メキシコ
カナダ
オーストラリア
米国
アイルランド
ポーランド
スペイン
ブラジル
南アフリカ
ベルギー
英国
チリ
コロンビア
イタリア
イスラエル
ドイツ
トルコ
スウェーデン
オランダ
日本
ハンガリー
フランス
韓国
ペルー

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか? (2025年5月)



正しい方向

間違った方向

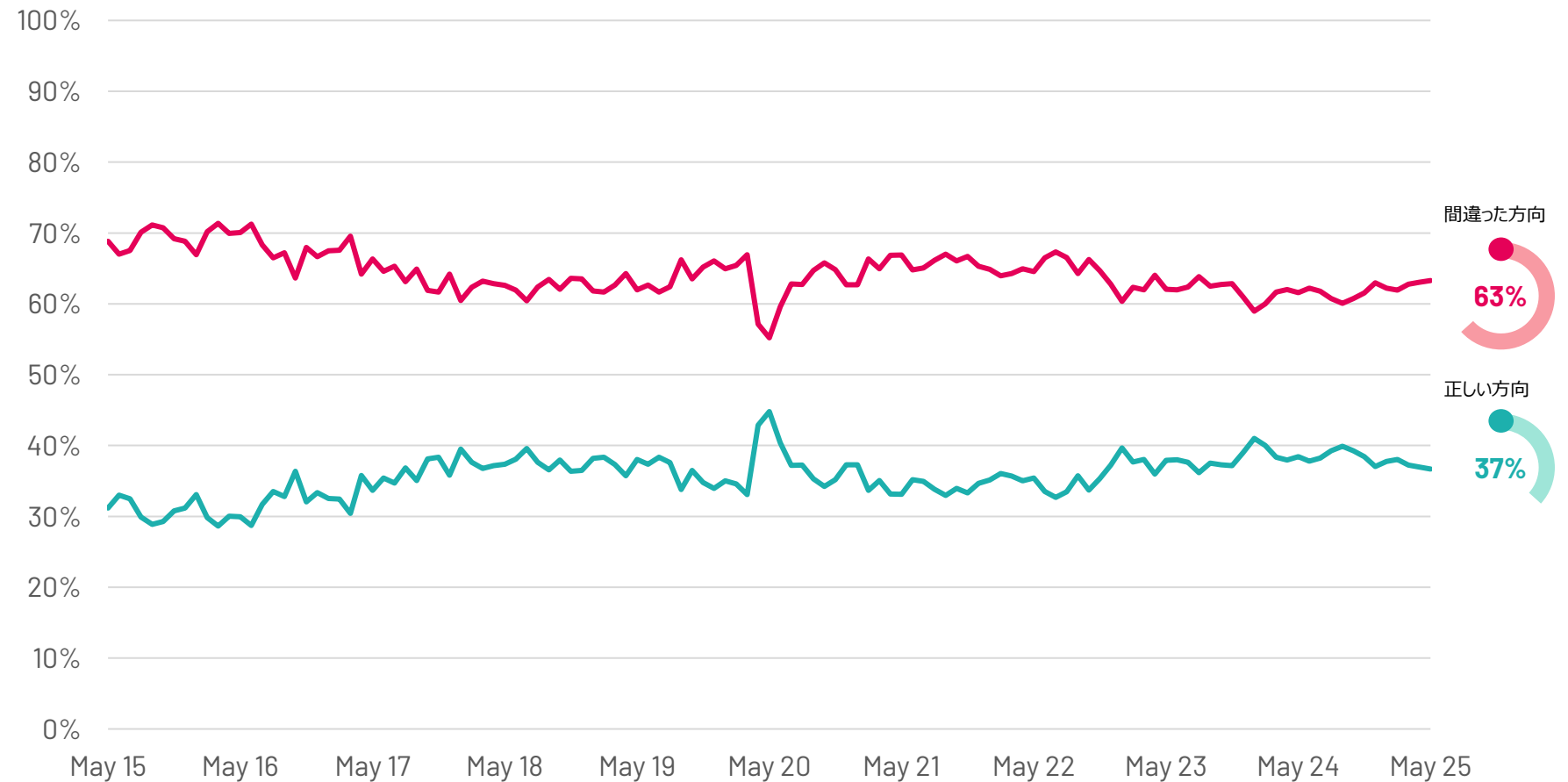
世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



スポットライト：韓国

韓国サマリー: 2025年5月

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

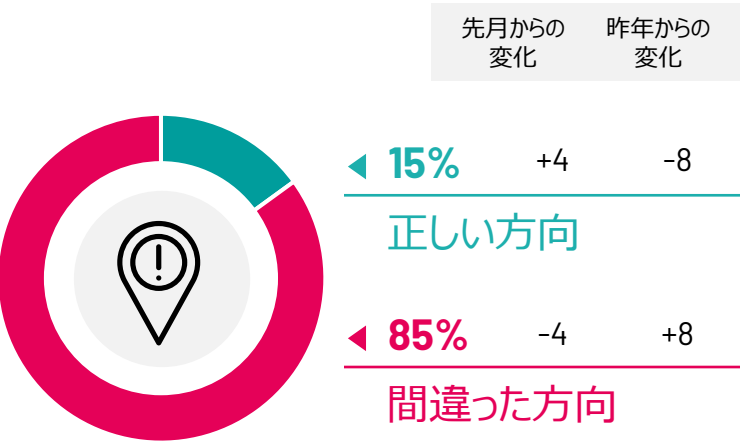
		先月からの 変化	昨年からの 変化
失業率と雇用	45%	+7	+6
汚職、経済的・政治的スキャンダル	44%	-1	+16
インフレ	34%	-4	-11
貧困と社会的不平等	26%	+6	=
犯罪と暴力	19%	+7	+5

対象: 16〜74歳の韓国人の代表サンプル。月約500人

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 韓国 | 現在のウェーブ: 2025年5月

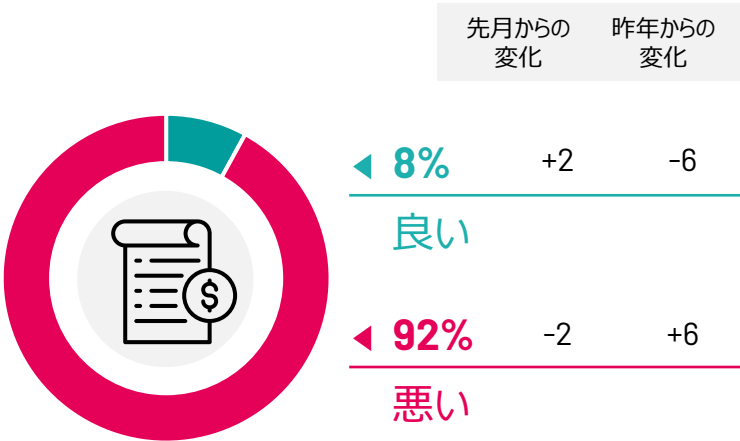
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



韓国

来週の韓国大統領選挙を前に、
韓国の人々の気持ちを見てみましょう。

自国が「正しい方向に向かっている」
と答えた人の割合はわずか15%で、
リストの中で下から2番目です。経済
についても同様の感情が感じられます。
韓国では悲観的な見方が広がっていますが、
近年の経済指標スコアは特に低く、
経済が「良い」と考える人はわずか8%です。

こうした意識は、今月のこの国の最大の
懸念事項に反映されています。失業に対する
懸念は7ポイント上昇して45%となっています。
さらに、戒厳令が施行された後も汚職に対

する懸念は高く、44%がそれについて
言及しています。さらに、ほぼ5分の
2(38%)がインフレが最優先事項
であると答えています。

さらに詳しい分析については、次の
ページをご覧ください。

25%

韓国では、現在の生活の質
が非常に良いと考えるのは、
25%にとどまっています。

対象: 2025年4月25日～2025年5月9日、参加30か
国の16～74歳の成人24,737人の代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。

韓国

さらに詳しい背景として、イプソス韓国のCEOであるHwanglee Park氏は次のように述べています。

「前大統領による戒厳令の失敗後、韓国国内の政治的不確実性が長引いており、これに米国の関税政策への懸念が加わり、景況感の悪化につながっています。

さらに、大規模な山火事、一部現場での建設工事の中断、国内最大手の通信会社へのハッキング攻撃による加入者データの漏洩など、一時的な要因が経済に悪影響を及ぼし、経済成長の鈍化、物価の下落、投資の縮小を招いたようです。

製造業は非IT産業を中心に引き続き衰退傾向にあり、建設業も建設市場の低迷により景気後退が深刻化しています。

これにより雇用者数の伸びが鈍化し、雇用市場に対する不安が高まっています。

さらに、大統領弾劾裁判(4月4日)と第21代大統領選挙(6月3日)が近づくにつれ、政治的対立と不安定さが続き、韓国の『世界が懸念していること調査』の結果にさらなる影響を与えています。」

25%

韓国では、現在の生活の質が非常に良いと考えるのは、25%にとどまっています。

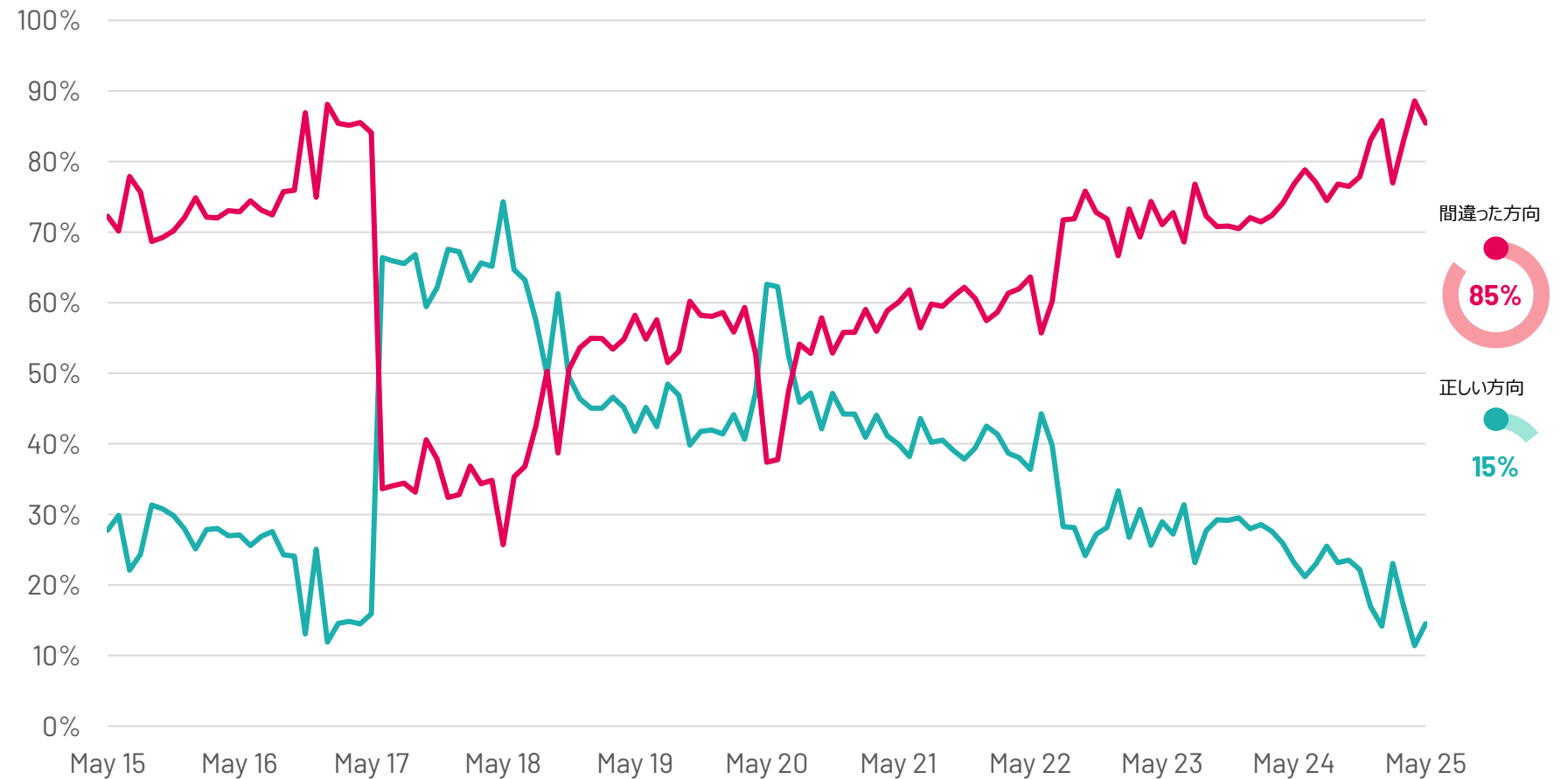
対象: 2025年4月25日～2025年5月9日、参加30か国の16～74歳の成人24,737人の代表サンプル

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。

韓国の正しい/ 間違った方向

対象: 16～74歳の韓国人の代表サンプル。月約500人
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 韓国 | 現在の波: 2025年5月

Q: この国は正しい方向に向かっていていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

韓国国民は現在の経済状況について長らく悲観的でしたが、最近のスコアは特に低いです。

対象: 2025年4月25日～2025年5月9日、参加30か国の16～74歳の24,737名の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

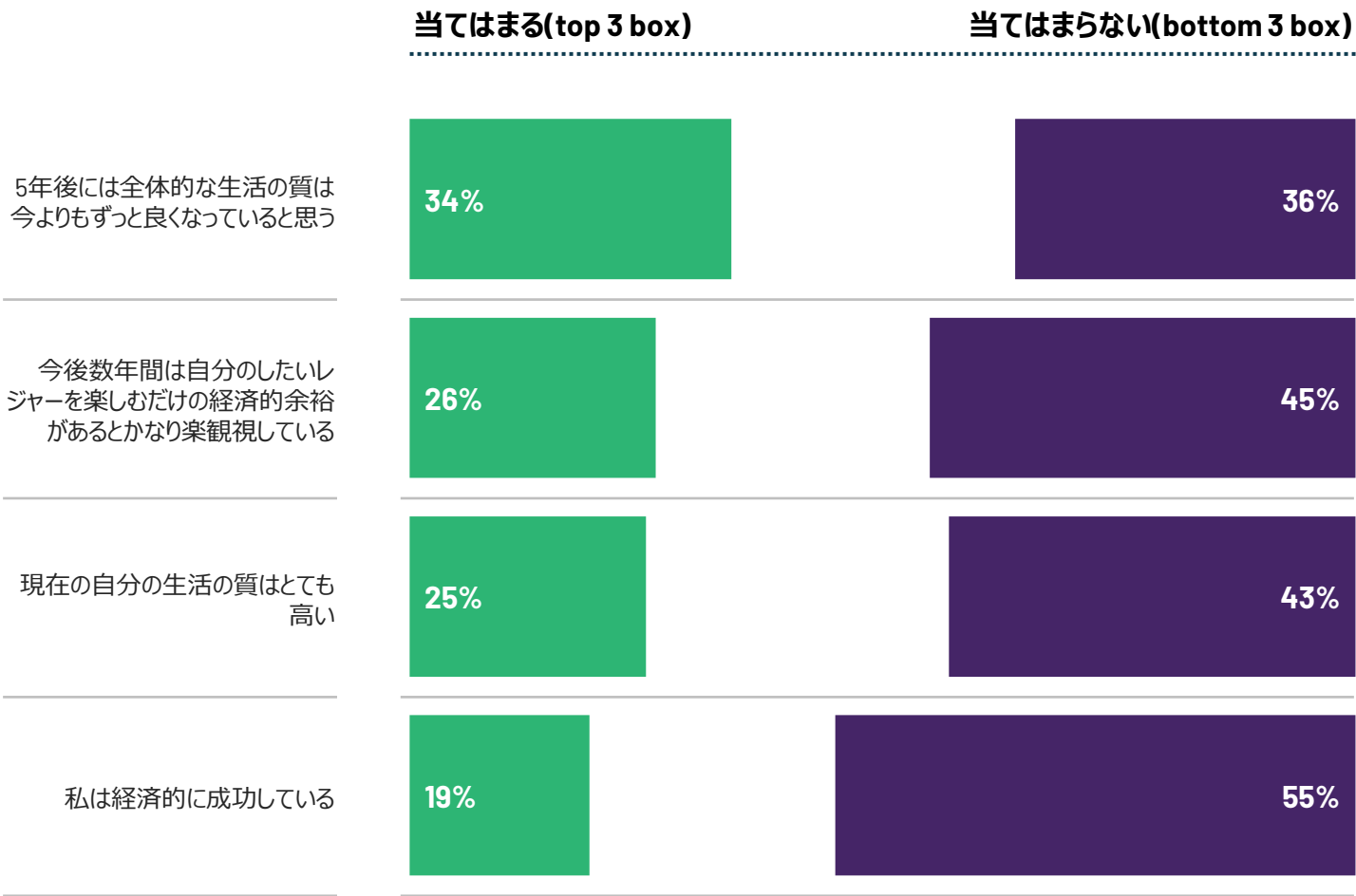
Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



以下の文章は、ご自身やご自身のお考えにどの程度当てはまりますか。

韓国

対象: 2025年4月25日～2025年5月9日、参加30か国の16～74歳の24,737名の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。



世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

2022年4月以降、30か国全体ではインフレが最大の問題となっており、2024年9月には犯罪と暴力が一時的に最大の懸念事項となりました。2024年11月と2025年2月には、インフレは犯罪と並んで第1位となりました。今月、犯罪を回答する割合がわずかに3分の1(33%)に上昇したため、30か国で、インフレが再び同率1位となりました。

リストの他の項目では、医療に対する懸念がわずかに上昇し、30か国全体でほぼ4人に1人(24%)が懸念を示しています。新たに調査に加わったアイルランドでは、医療が最も懸念される問題となっており、順位

でも2位に位置しています。

先月は、ヨーロッパ全域で軍事紛争への懸念が高まりました。しかし今月、ヨーロッパ全体で不安は減少し、全体では11位から12位に下がっています。

8か国

が、犯罪と暴力が主な問題としています。
(インフレについては6か国)

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

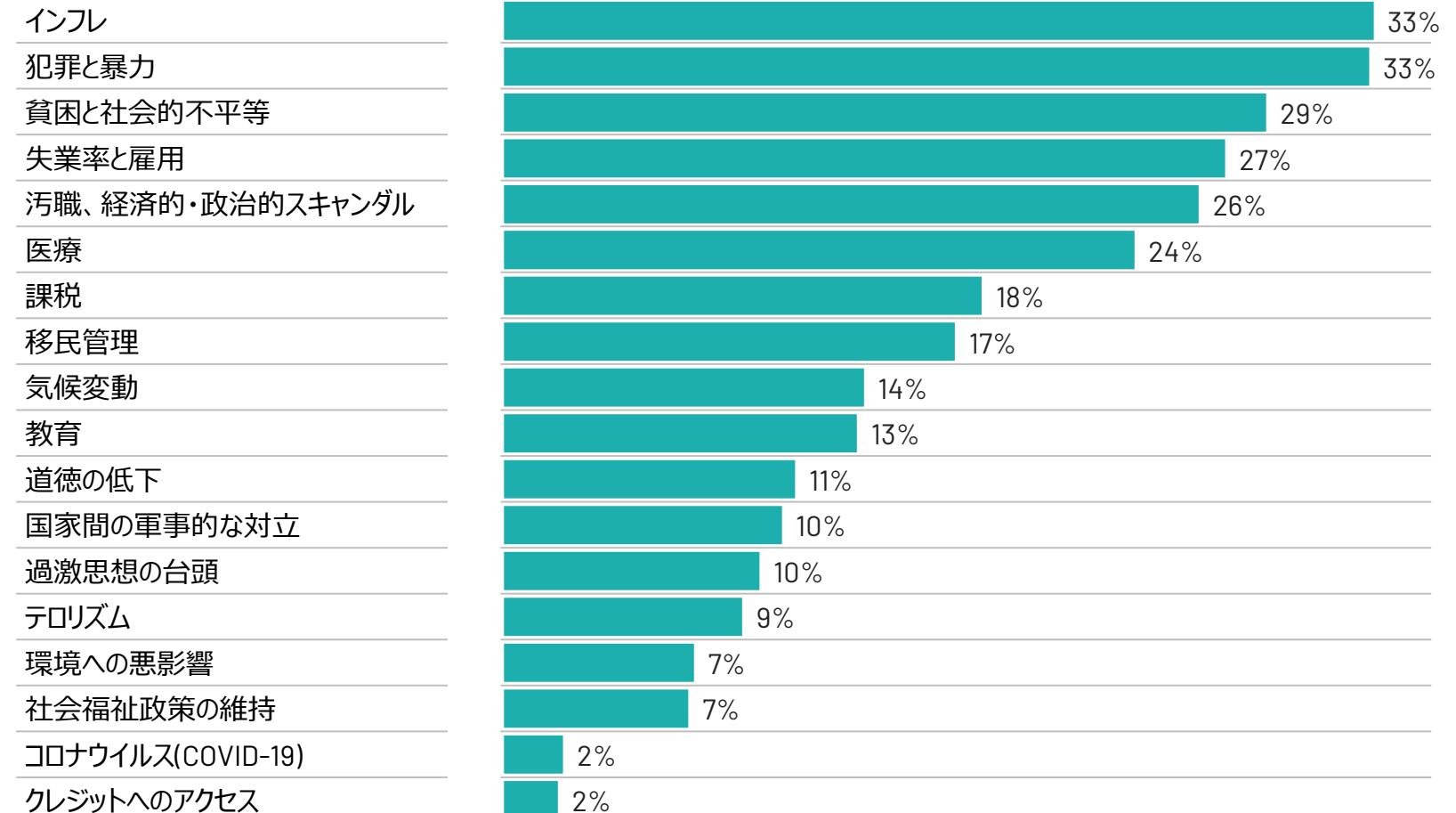
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

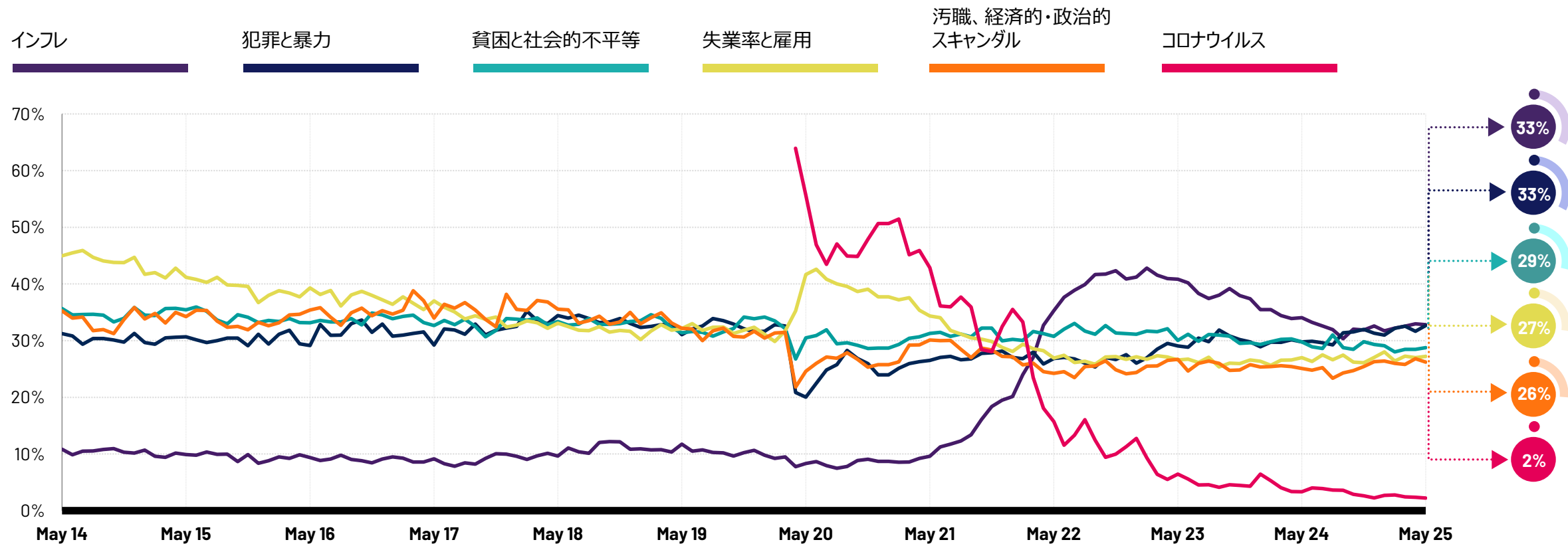
懸念事項

2025年5月の回答割合 (世界各国平均)



世界の懸念: 長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

1. インフレ

30か国全体では、インフレを理由とする割合は3分の1(33%)にとどまっていますが、現在は犯罪と暴力と並んで第1位となっています。

英国では、生活費を心配する英国国民の割合が1か月間で6ポイント上昇し、36%となっています。これは英国で継続する懸念事項のようで、最後に同じレベルが見られたのは2024年4月です。

同様に、インフレを懸念していると答えたチリ国民の割合は7ポイント増加して4分の1(25%)となっています。しかし、これは1年前よりも4ポイント低い数字です。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

33%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール(62%) • 米国(42%)
- トルコ(54%) • インド(37%)
- カナダ(50%)
- オーストラリア(49%)

1. インフレ

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

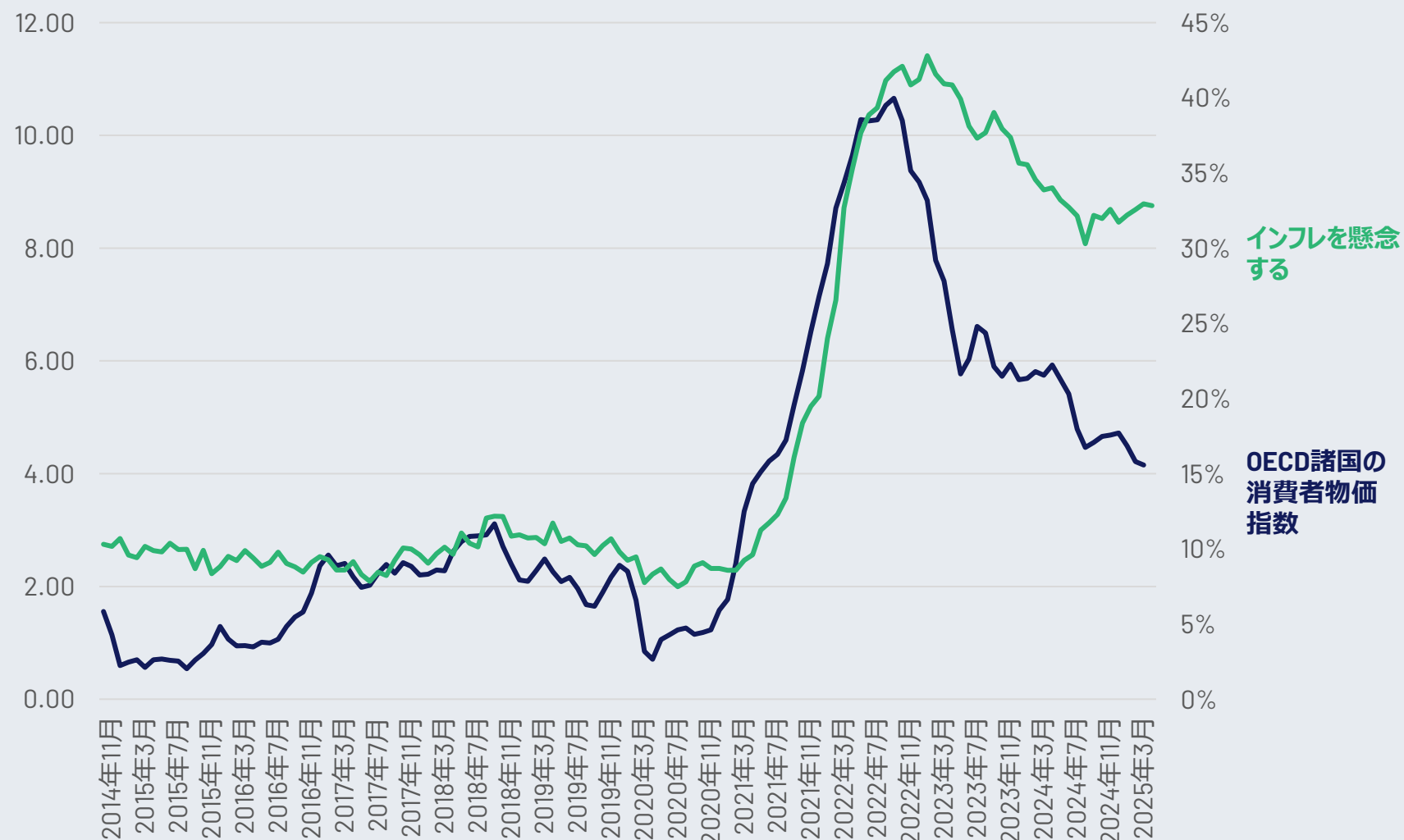
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国	インフレを懸念していると回答した人の割合	先月からの変化	12か月間の変化
世界	33%	=	-1
シンガポール	62%	+6	+3
トルコ	54%	-1	-1
カナダ	50%	-3	-4
オーストラリア	49%	+3	+2
ハンガリー	45%	-4	+11
米国	42%	+2	-8
アルゼンチン	40%	-1	-11
インド	37%	-2	-4
英国	36%	+6	+5
ポーランド	35%	-2	-8
アイルランド	35%	+2	=
韓国	34%	-4	-11
マレーシア	34%	-1	+4
ブラジル	33%	-3	+10
フランス	33%	+2	-1
タイ	33%	+2	+6
日本	32%	-3	+2
メキシコ	31%	+2	+7
ドイツ	31%	-4	-4
イタリア	27%	-1	+4
スペイン	26%	-3	-3
ベルギー	26%	+1	+1
インドネシア	26%	+4	+3
チリ	25%	+7	-4
オランダ	24%	+1	+2
イスラエル	19%	+4	+1
スウェーデン	19%	-6	-6
南アフリカ	18%	-5	-2
コロンビア	17%	-2	-14
ペルー	13%	-1	-15

物価上昇とともにインフレへの懸念も高まりましたが、インフレ率が低下する中でも、コストに対する不安はそれほど早くは和らいでいません。

対象: 参加30か国の16～74歳の24,737人の代表サンプル、2025年4月25日～2025年5月9日

出典: イプソスグローバルアドバイザーおよびOECDデータ



2. 犯罪と暴力

過去12か月間、犯罪と暴力に対する懸念は着実に高まっています。30か国全体でこれを言及する人の割合は現在3分の1(33%)となり、インフレと並んでトップとなっています。

通常、この問題についてはラテンアメリカ諸国の懸念が特に強い傾向がありますが、今月も例外ではありません。しかし、ヨーロッパの一部の地域では現在、懸念が高まっています。この傾向は特にベルギーで顕著で、不安を表明する人の割合が6ポイント増加して3分の1(33%)となり、10年ぶりの高水準に達しています。

同様に、心配していると答えたフランス人の割合は5ポイント上昇して42%となっています。これは昨年5月より13ポイント高く、2023年7月(49%)以来の最高

値です。

イタリア(31%)とオランダ(26%)も先月からの上昇を経験しており、それぞれ4ポイントと5ポイント増加しました。

犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー (73%)
- スウェーデン (66%)
- チリ (64%)
- マレーシア (61%)
- コロンビア (42%; 失業と同率)
- フランス (42%)
- ブラジル (41%)
- ベルギー (33%)

33%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

2. 犯罪と暴力

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

犯罪と暴力を懸念していると回答した人の割合

国	犯罪と暴力を懸念していると回答した人の割合	先月からの変化	12か月間の変化
世界	33%	+1	+3
ペルー	73%	-2	+19
スウェーデン	66%	+5	+2
チリ	64%	-2	-5
メキシコ	61%	+3	+9
南アフリカ	52%	+1	-4
アルゼンチン	44%	-5	+6
フランス	42%	+5	+13
コロンビア	42%	+5	+9
ブラジル	41%	-5	-5
ベルギー	33%	+6	+8
オーストラリア	33%	-1	=
イスラエル	32%	-1	+6
イタリア	31%	+4	+8
アイルランド	30%	+2	+2
ドイツ	29%	-1	+4
トルコ	29%	+5	+8
タイ	26%	-1	-5
マレーシア	26%	-4	+4
オランダ	26%	+5	+6
インド	25%	+2	+3
カナダ	24%	+6	+6
米国	23%	-1	-12
インドネシア	22%	+2	+4
英国	21%	-3	-4
日本	19%	=	+4
韓国	19%	+7	+5
スペイン	18%	+1	-2
ポーランド	13%	+3	+6
ハンガリー	9%	-2	-3
シンガポール	6%	-4	-6

3. 貧困と社会的 不平等

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体では、不平等を回答する割合はわずかに増加し、ほぼ10人中3人(29%)となっています。

今月5月、不平等について懸念を表明したアルゼンチン国民の割合は過去最高の46%に上昇しています。これは先月から7ポイントの増加、昨年の同時期と比較すると5ポイントの増加となります。これは過去10年間で記録された最高レベルでもあります。

アジア太平洋地域の一部でも同様の懸念が高まっています。例えば、日本国民が「不平等」を挙げた割合は4ポイント増加して37%となり、2023年12月(同じく37%)以来の最高値となっています。韓国のスコアは6ポイン

ト上昇し、不平等を選んだ人は4分の1(26%)となっています。しかし、これは韓国では比較的通常の水準です。

貧困と社会的不平等が最大の懸念事項となっている国:

- アルゼンチン(46%; 失業と同率)
- オランダ(35%)
- 日本(37%; 課税と同率)

29%

が、**貧困と社会的不平等**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

3. 貧困と社会的 不平等

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

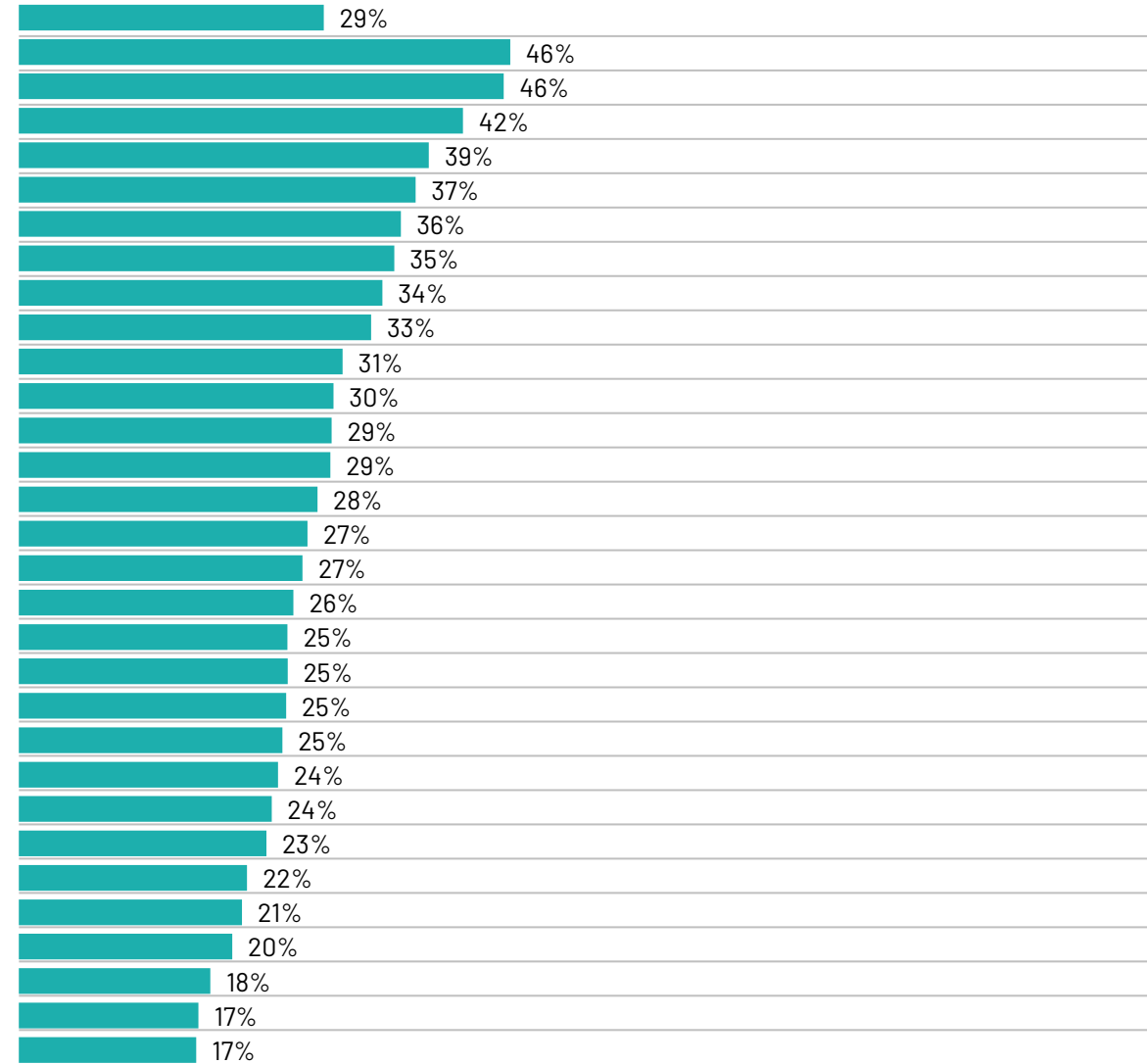
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

貧困と社会的不平等を懸念していると回答した人の割合

世界
アルゼンチン
インドネシア
ハンガリー
タイ
日本
トルコ
オランダ
コロンビア
ブラジル
ドイツ
ベルギー
南アフリカ
メキシコ
アイルランド
イタリア
英国
韓国
ペルー
オーストラリア
マレーシア
チリ
カナダ
スペイン
スウェーデン
イスラエル
フランス
シンガポール
ポーランド
米国
インド



先月からの 変化	12か月間 の変化
+1	-1
+7	+5
+5	+8
+2	-5
=	-5
+4	+4
+2	-3
+4	-2
+2	=
-1	-6
=	-2
+3	+2
-2	-3
+4	+4
+1	=
-1	=
-2	=
+6	=
-7	-3
-3	-4
-5	-6
+2	-4
-1	-4
=	-2
+2	-1
-7	+4
-3	-8
+1	+7
=	-1
-5	-2
-2	-6

4.失業率と雇用

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で失業を懸念する人の割合に変化はなく、依然として27%が不安を感じています。

韓国では、失業率と雇用を挙げた割合が7ポイント上昇して45%となり、昨年同時期より6ポイント上昇しています。ただしこの数値は、韓国における通常の傾向と大きくは変わらず、2025年3月には46%に達していました。

チリは、不安を表明する人の割合が先月より5ポイント増加しており、今後注目すべき国の1つとなっています。これは2024年9月を除いて、2021年4月(38%)以来のチリ最高スコアです。

失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(64%) • 韓国(45%)
- アルゼンチン(46%); • スペイン(32%)
不平等と同率)
- コロンビア(42%;
犯罪と共同)

27%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

4.失業率と雇用

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合

国	失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合	先月からの変化	12か月間の変化
世界	27%	=	=
南アフリカ	64%	+2	-3
インドネシア	51%	+5	+13
シンガポール	47%	+6	+8
アルゼンチン	46%	=	+3
韓国	45%	+7	+6
コロンビア	42%	-2	-3
チリ	36%	+5	+9
ペルー	35%	+1	-3
インド	33%	-2	-11
メキシコ	32%	-4	-4
マレーシア	32%	+2	=
スペイン	32%	+1	-2
イタリア	32%	-1	-2
スウェーデン	25%	-3	+9
カナダ	24%	+1	+6
タイ	24%	-7	-1
トルコ	23%	-2	-6
オーストラリア	20%	+2	-1
アイルランド	20%	-1	=
ベルギー	20%	+1	+6
ブラジル	18%	+2	-8
日本	18%	+1	-1
ポーランド	18%	-1	-7
米国	17%	+1	+1
英国	13%	-4	+1
フランス	12%	+2	+2
ハンガリー	12%	-5	-5
イスラエル	10%	=	-3
ドイツ	9%	-2	+1
オランダ	5%	=	=

5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体では、汚職を回答する割合はわずかに減少し、4分の1(26%)となっています。

ブラジルでは汚職に対する懸念を表明する人が急増しています。9ポイント上昇して37%となり、これは昨年5月より10ポイント上昇し、2021年7月(同じく37%)以来の最高スコアとなっています。これは現在、犯罪と暴力に次ぐ、ブラジルで2番目に大きな問題となっています。

先月の懸念の急上昇後、トルコのスコアは6ポイント低下して10人中3人(31%)となり、やや落ち着いています。しかし、これは昨年同時期よりも12ポイント高く、依然として比較

的高い数値です。

汚職、経済的・政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア(63%)
- タイ(48%)
- マレーシア(47%)

26%

が、**汚職、経済的・政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念していると回答した人の割合

国	汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念していると回答した人の割合	先月からの変化	12か月間の変化
世界	26%	-1	+1
インドネシア	63%	-7	-2
ペルー	55%	-1	+2
タイ	48%	+9	+9
ハンガリー	48%	+1	+7
マレーシア	47%	-1	-1
韓国	44%	-1	+16
南アフリカ	43%	+5	-8
コロンビア	37%	-4	+6
ブラジル	37%	+9	+10
トルコ	31%	-6	+12
イスラエル	30%	-3	+6
チリ	29%	-4	+3
米国	27%	-3	+8
スペイン	27%	=	+2
メキシコ	26%	-1	=
ポーランド	24%	+6	=
アルゼンチン	22%	-5	-1
インド	21%	-2	-6
日本	18%	-6	-13
ベルギー	13%	=	-1
オーストラリア	12%	-1	-2
英国	11%	+1	-6
カナダ	11%	-5	=
アイルランド	11%	+2	=
イタリア	10%	-1	-2
オランダ	10%	+3	+2
フランス	8%	=	-3
ドイツ	8%	+1	-2
シンガポール	8%	-3	=
スウェーデン	7%	-3	-2

6. 医療

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国で約4分の1(24%)が、医療は自国が直面する最大の懸念事項の一つであると回答しており、これは先月からわずかに増加しています。

新たに加わったアイルランドでは医療が主な問題となっており、5分の2以上(43%)が懸念を表明しています。私たちは2024年1月からアイルランドを継続的に追跡しており、この数字がこの国としては比較的低い水準であることがわかります。ピークは2024年9月の50%でした。

医療を心配するハンガリー国民の割合は5ポイント上昇して64%となり、これは1年前より11ポイント高いス

コアです。ただし、状況がより深刻だった時期もあり、たとえば2024年9月には懸念の割合が68%に達していました。

医療が最大の懸念事項となっている国:

- ハンガリー (64%)
- アイルランド (43%)
- 英国 (42%)
- ポーランド (38%)
- イタリア (34%)

24%

が、**医療**は自国が直面している重要な課題の一つだと答えています。

6. 医療

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念していると回答した人の割合

世界

24%

ハンガリー

64%

アイルランド

43%

英国

42%

カナダ

42%

ポーランド

38%

ブラジル

36%

イタリア

34%

オーストラリア

34%

スペイン

31%

シンガポール

30%

コロンビア

29%

オランダ

29%

フランス

25%

米国

21%

メキシコ

20%

ベルギー

19%

スウェーデン

19%

ドイツ

18%

南アフリカ

18%

チリ

16%

ペルー

16%

アルゼンチン

14%

インド

13%

韓国

12%

日本

12%

マレーシア

11%

イスラエル

9%

インドネシア

7%

タイ

6%

トルコ

4%

先月からの
変化

12か月間
の変化

+1

+1

+5

+11

+2

=

+3

+3

=

-2

-5

-5

-1

-4

-2

-2

+3

+6

=

-2

-1

+2

-3

+1

+4

-1

+1

=

-3

=

=

-2

-3

-2

-1

-4

+1

+2

+1

+5

=

+4

+2

+4

=

-2

=

-1

=

-7

+1

+4

+1

+4

+3

+4

+1

=

-3

-2

=

-1

7. 課税

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体では、税金に言及する割合はわずかに増加して18%となっています。

税金に対する懸念が最も高かった日本では、不安だと答えた人の割合が4ポイント上昇しています。これは、2023年12月(当時も37%)以来、日本で最も高い数値です。

米国では、比較的低いにもかかわらず、税金に対する不安のレベルは新たな高さに達しています。税金について懸念を表明する米国国民の割合は4ポイント上昇して5分の1(20%)となり、これは今年の同時期より7ポイント高いだけでなく、過去10年間で最高となっています。

課税が最大の懸念事項となっている国:

- 日本 (37%; 不平等と同率)

18%

が、**課税**は自国が直面している重要な課題の一つだと答えています。

7. 課税

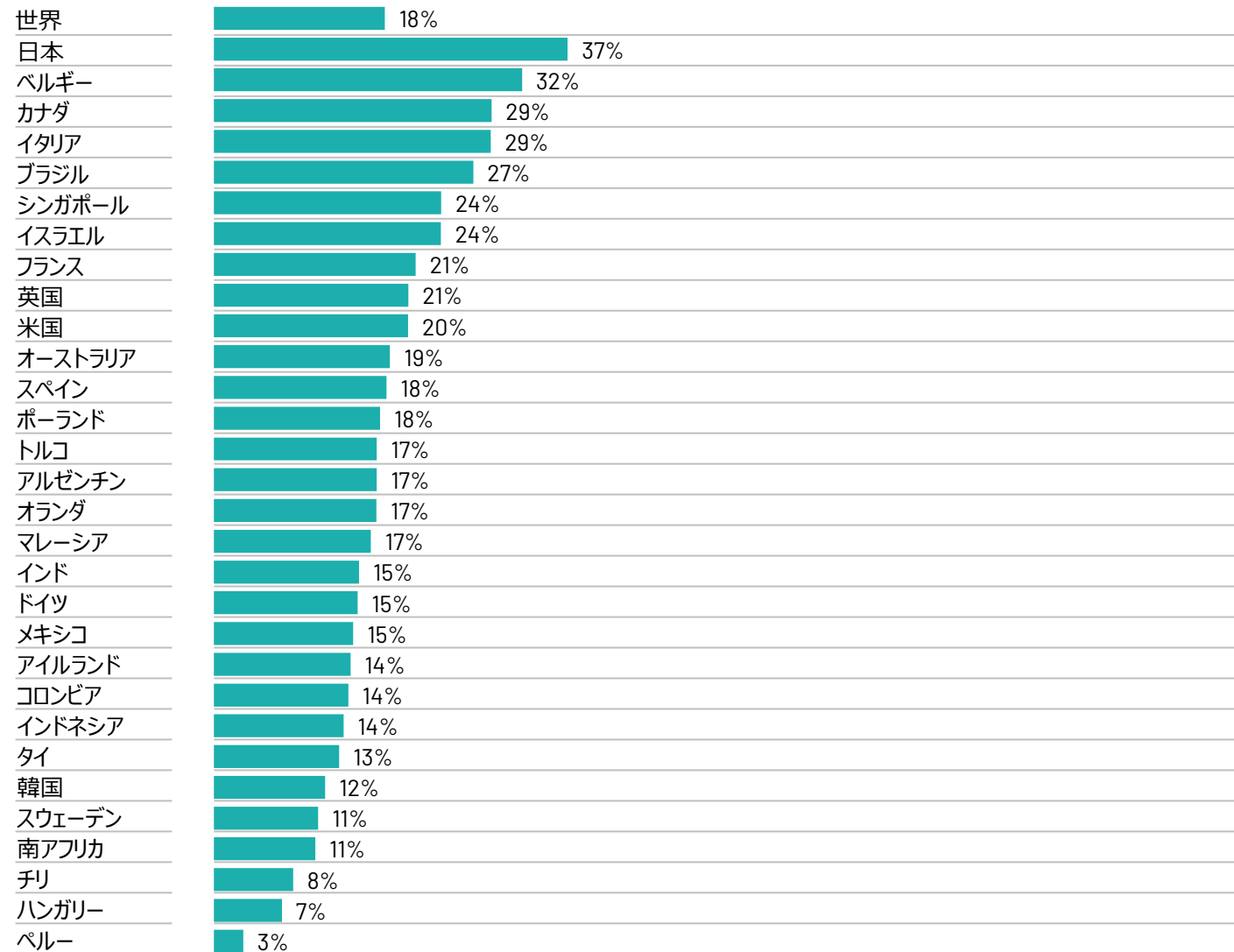
対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

課税を懸念していると回答した人の割合



先月からの変化 12か月間の変化

+1	+2
+4	+4
+4	-1
=	-1
+1	+2
+2	+3
+6	+6
+4	+4
+3	+6
-2	+6
+4	+7
-2	+3
-2	-6
+2	+3
+1	+4
+1	-4
+1	+1
+3	-1
-1	+2
+2	+2
+2	+4
-1	-2
+1	-3
-1	+6
+4	+4
+1	-4
+1	-1
-10	+4
=	+1
=	+1
-1	-5

9. 気候変動

30か国全体で14%が、気候変動を自国が直面する主要課題の一つとして挙げており、これは先月からわずかに減少しています。

ドイツでは、不安を表明する人が先月より最大の増加を記録し、不安を表明する人が6ポイント上昇して、ほぼ4分の1(23%)に達しています。しかし、これはドイツではそれほど高い数字ではなく、例えば昨年5月よりわずかに低いだけです。

韓国は回答率が4ポイント低下し、5分の1以下(18%)となり、先月のピークから順位を下げています。これは昨年5月のスコアをわずかに上回っただけです。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

14%

が、**気候変動**は自国が直面する重要な課題の一つだと答えています。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:

なし

9. 気候変動

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

気候変動を懸念していると回答した人の割合

国	気候変動を懸念していると回答した人の割合	先月からの変化	12か月間の変化
世界	14%	-1	-2
日本	23%	-4	-2
ドイツ	23%	+6	-1
オランダ	22%	-2	-3
シンガポール	21%	-4	-6
オーストラリア	20%	-1	-2
タイ	20%	-5	-9
フランス	19%	=	-1
スウェーデン	19%	+2	+4
英国	19%	+1	-3
韓国	18%	-4	+1
イタリア	18%	-2	-5
スペイン	18%	=	+2
カナダ	16%	+2	-6
アイルランド	15%	-1	+4
ポーランド	14%	-1	=
ベルギー	13%	-2	-6
メキシコ	12%	-4	-11
米国	12%	-1	-5
インド	11%	-2	+1
ブラジル	10%	-4	+2
インドネシア	9%	-5	-14
トルコ	9%	+4	-2
南アフリカ	8%	=	+1
マレーシア	8%	-6	-5
コロンビア	6%	-5	-12
ペルー	6%	+1	+1
アルゼンチン	6%	+2	+3
チリ	5%	=	=
ハンガリー	3%	-5	-4
イスラエル	1%	-1	-4

14. テロリズム

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体では、テロを回答する割合はわずかに増加し、ほぼ11人に1人(9%)となっています。

2023年10月以来、イスラエルの人々にとってテロは常に最大の懸念事項となっています。この傾向は最新データでも続いており、回答者の47%がテロを懸念していると答えており、前月よりわずかに増加しています。しかし、この数字は2023年12月に記録されたピークの64%を大きく下回っています。

インド北部国境での最近の事件を受けて、懸念の言及が11ポイント増加して26%となり、インドの不安レベルは5年ぶりの高水準に達しています。これは12か月前よりも14ポイント高く、2019年10月(同じく26%)以来の最高値です。

コロンビアでも懸念レベルは新たな高みに

達し、懸念を表明した人の割合は9ポイント上昇して27%となっています。これは1年前より15ポイント高いだけでなく、2021年3月にこの国が調査対象に追加されて以来、最高値です。

テロリズムが最大の懸念事項となっている国:

- イスラエル(47%)

9%

が、**テロリズム**は自国が直面する重要な問題の一つだと答えています。

14. テロリズム

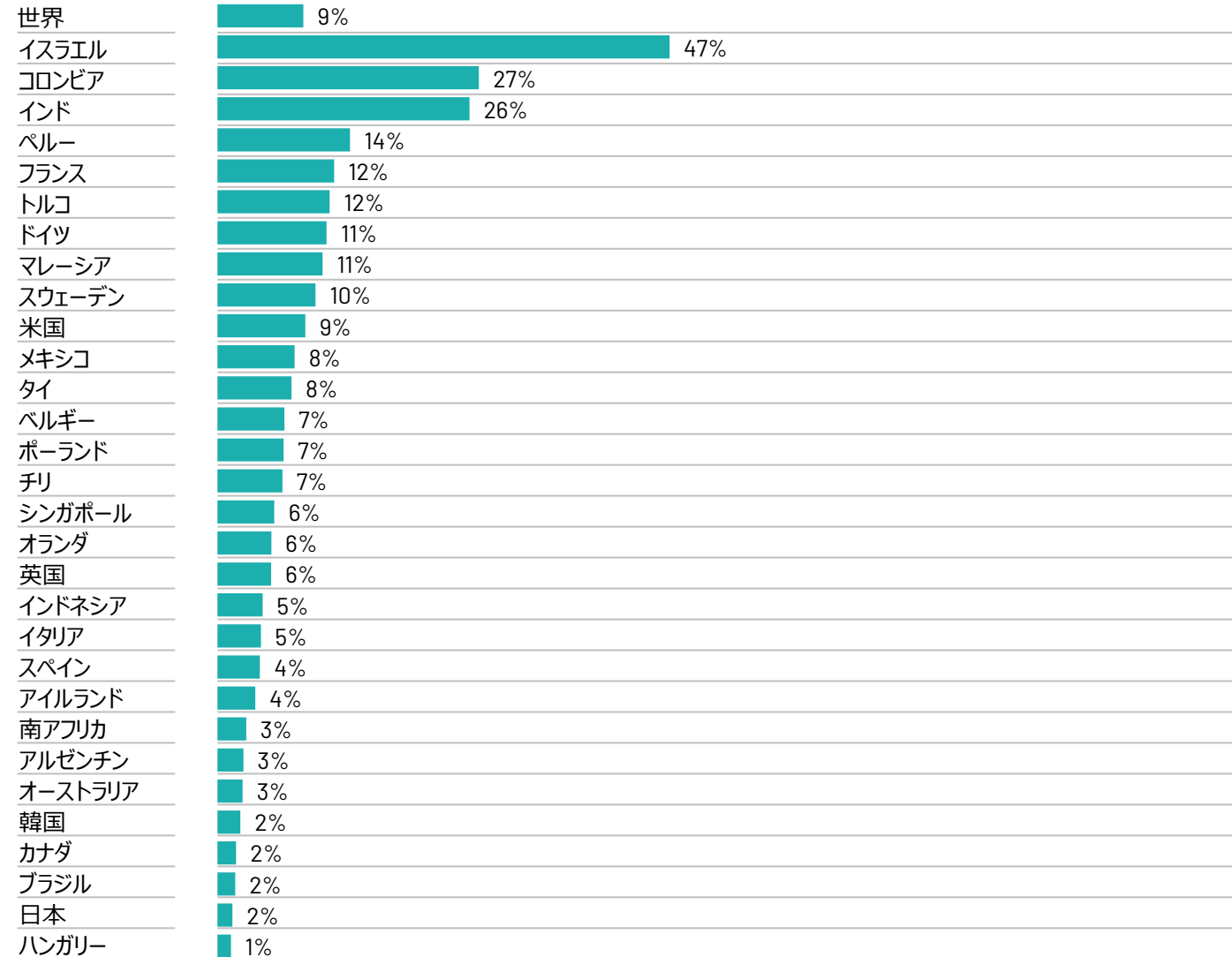
対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

テロリズムを懸念していると回答した人の割合



先月からの 変化	12か月間 の変化
+1	+1
+2	-5
+9	+15
+11	+14
-2	+9
-1	-4
-5	=
-1	+4
+5	+5
+2	-3
=	=
-2	+3
+1	=
-4	-5
+2	+5
+3	-4
+1	+2
-2	=
=	-3
+1	-4
+1	=
-2	-2
-1	-3
+2	+1
+1	-1
=	-3
-1	-1
=	=
=	-1
=	-1
=	-2

17. コロナウイルス (COVID-19)

30か国全体で、新型コロナウイルス感染症に対する不安を表明する人の割合はわずか2%にとどまっています。

今月は各国で目立った変化はほとんどありませんでした。しかし、パンデミックが始まってから6年目を迎えるにあたり、私たちはこの問題を引き続き監視していきます。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

コロナウイルス(COVID-19)が最も懸念される国:

なし

2%

が、**コロナウイルス(COVID-19)**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

17. コロナウイルス (COVID-19)

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国

コロナウイルス(COVID-19)を懸念していると回答した人の割合

先月からの
変化 12か月間
の変化

世界	2%	=	-1
マレーシア	7%	+1	=
タイ	6%	-1	-5
インド	5%	-1	-2
トルコ	5%	+3	=
日本	4%	+1	-1
インドネシア	3%	=	-2
ブラジル	3%	=	=
韓国	3%	+1	=
米国	3%	+1	-1
シンガポール	3%	-3	-7
ベルギー	2%	=	+2
南アフリカ	2%	=	-2
ペルー	2%	+1	-1
オーストラリア	2%	=	-2
チリ	2%	=	=
ポーランド	2%	+1	+1
スペイン	2%	=	-1
メキシコ	2%	-2	+1
アイルランド	2%	-1	-3
フランス	2%	+1	-1
ハンガリー	1%	=	-2
コロンビア	1%	=	+1
ドイツ	1%	=	-1
英国	1%	-1	-2
イタリア	1%	=	-1
アルゼンチン	1%	=	+1
スウェーデン	0%	=	-1
オランダ	0%	-1	=
カナダ	0%	-1	-2
イスラエル	0%	-1	-1

経済フォーカス

自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、30か国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、
Emilios.Louca@ipsos.com
までお問い合わせください。

現在の経済状況

30か国平均では、自国の現在の経済状況を「良い」と評価する人は36%で、先月よりわずかに減少しています。

昨年と同時期と比べて最も上昇したのは、マレーシア(+22ポイント、69%)とアルゼンチン(+17ポイント、33%)です。

一方、フランス(-16ポイントの16%)とメキシコ(-15ポイントの43%)では、12か月間で最大の下落が見られました。

スペインは経済的に特に好調な一年を経験しました。今月、経済を肯定的に評価する人は43%で、2024年8月に記録した過去最高の44%をわずかに1ポイント下回っています。驚くべきことに、スペインの好景気スコアの過去最高のプラス評価のうち9件が過去12か月

以内に記録されています。

経済を最も懸念している上位国:

- **日本** (93%が「悪い」状態だと回答)
- **韓国** (92%)
- **フランス** (84%)
- **ハンガリー** (82%)
- **ペルー** (82%)

9つ

のスペインの好景気スコアの最高記録は、過去12か月以内に記録されています。



対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

現在の経済状況

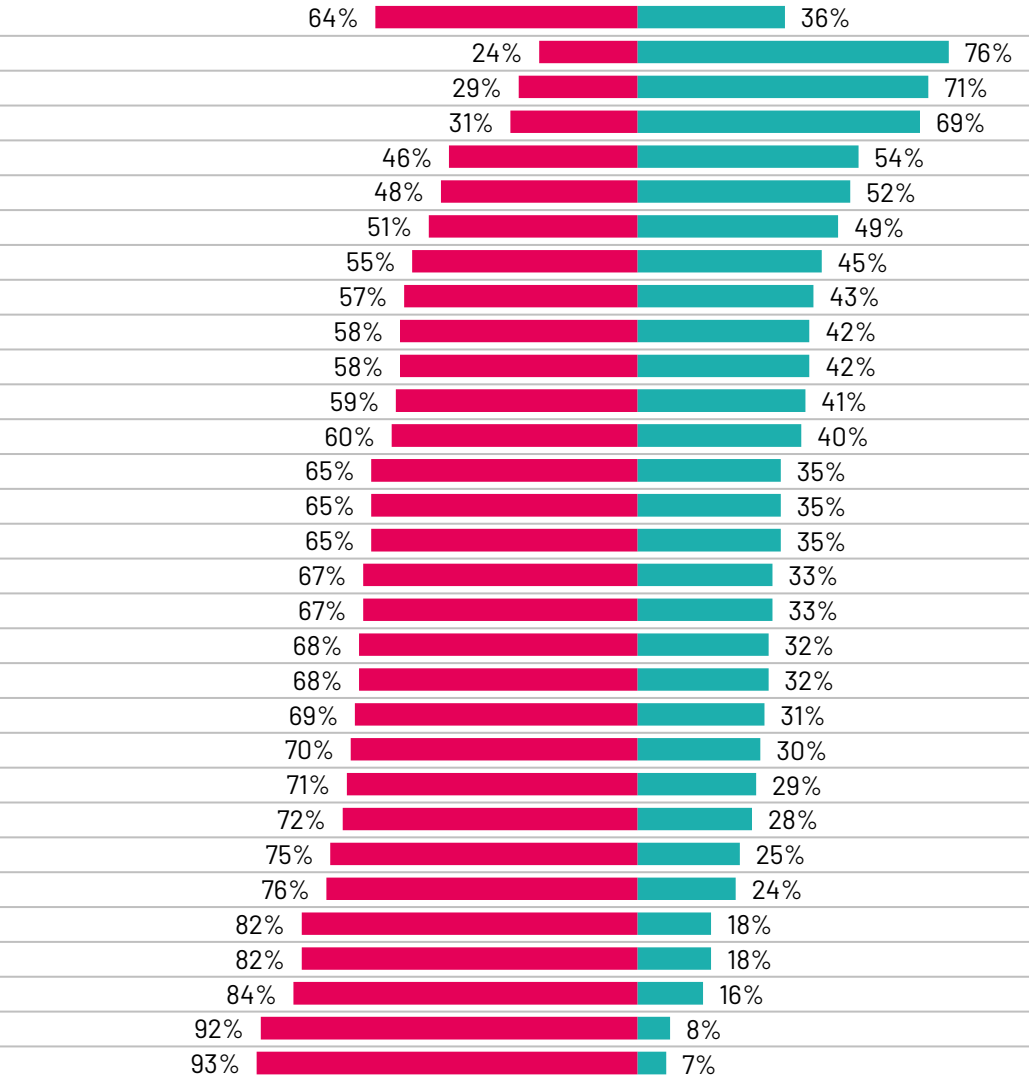
対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

国
世界
インド
シンガポール
マレーシア
アイルランド
オランダ
インドネシア
ポーランド
メキシコ
スウェーデン
スペイン
オーストラリア
タイ
米国
南アフリカ
カナダ
チリ
アルゼンチン
イスラエル
ベルギー
ドイツ
ブラジル
イタリア
英国
コロンビア
トルコ
ペルー
ハンガリー
フランス
韓国
日本

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い

先月からの 変化	12か月間の 変化
-1	-2
-1	-8
-13	-12
-1	+22
-4	+6
-5	-5
-2	-10
+1	+3
-5	-15
+9	+7
+3	+4
-2	-4
-5	-6
-2	-2
+8	+11
+5	+5
=	+10
+4	+17
-3	-12
-2	-7
+3	-7
-2	-5
-1	+2
+2	-3
-3	=
+2	=
-1	+1
-1	-7
-1	-16
+2	-6
-3	-6

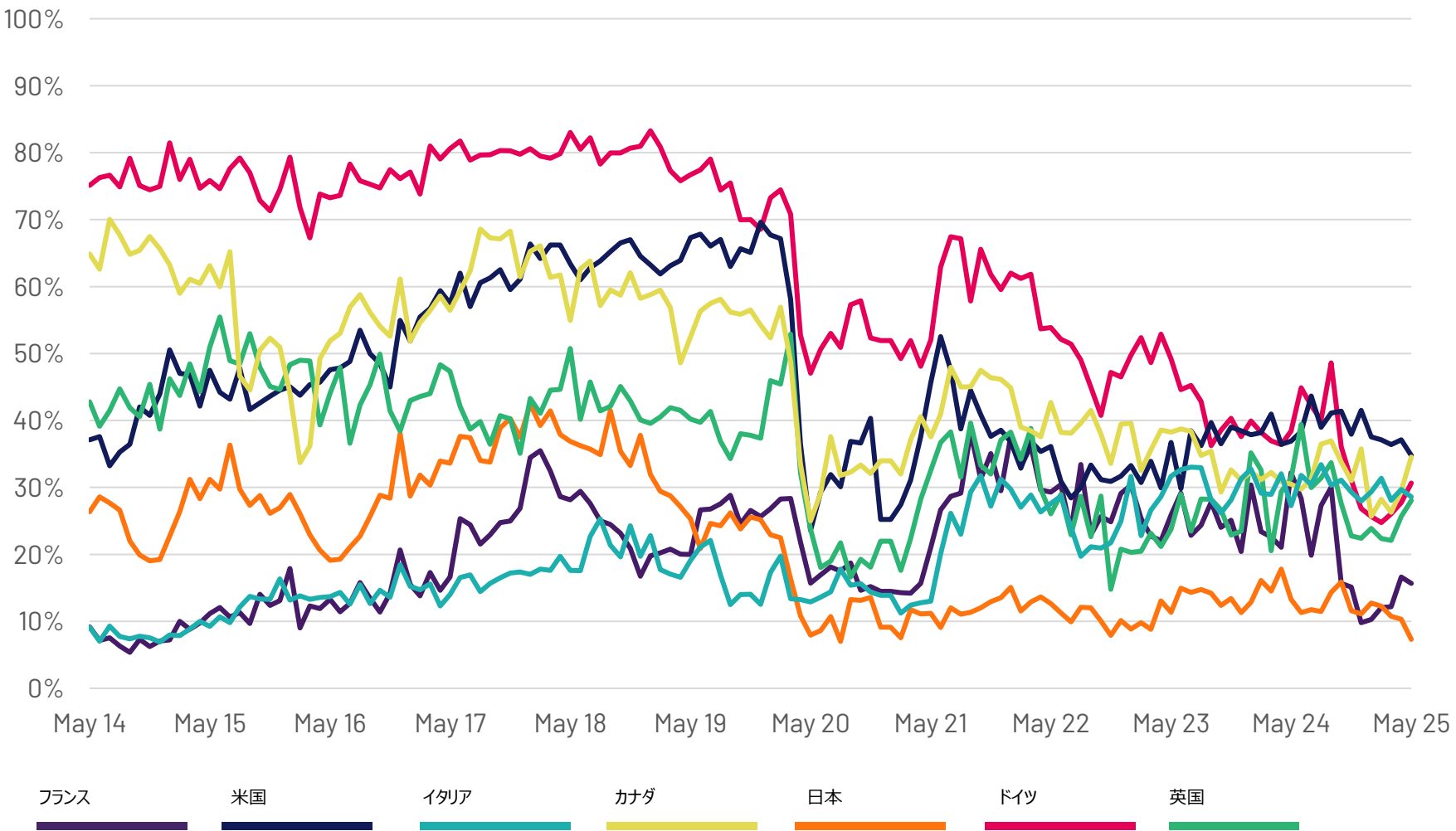


現在の経済状況

G7
%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

アルゼンチン

%「とても良い」または「やや良い」

アルゼンチンは、当社の調査で12か月間で2番目に大きな増加を記録し、17ポイント増の33%となっています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダの好景気スコアは、2023年1月(40%)以来40%に達していません。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

フランス

%「とても良い」または「やや良い」

フランスの好景気スコアは、過去12か月間で当社の調査対象国の中で最も下落し、16ポイント下落して16%となっています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツの好景気スコアは、2025年2月の連邦選挙後、3か月連続で上昇しています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

英国

%「とても良い」または「やや良い」

過去3か月間で上昇したにもかかわらず、英国の良好な経済スコアはパンデミック前の水準より低いままです。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

イスラエル

%「とても良い」または「やや良い」

イスラエルの好景気スコアは、過去最低スコア(2024年12月の30%)をわずか2ポイント上回っています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

イタリアは、私たちの調査対象国の中で、パンデミック以前と比べて経済の好調さのスコアが一貫して高い数少ない国の一つです。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

日本は5か月ぶりに、今月再びランキング最下位に沈んでいます。今月のスコアは2020年8月(7%)以来の国内最低であり、過去最低(2010年7月の6%)をわずかに1ポイント上回っています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

マレーシア

%「とても良い」または「やや良い」

マレーシアは、当社の調査に含まれる30か国の中で、12か月間の好景気スコアの上昇率が最も大きかったです。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

メキシコ

%「とても良い」または「やや良い」

メキシコは、当社の調査で2番目に大きな前年比減少を記録したにもかかわらず、過去10年間のスコアと比較すると、好景気スコアは依然として高い水準を維持しています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

南アフリカ

%「とても良い」または「やや良い」

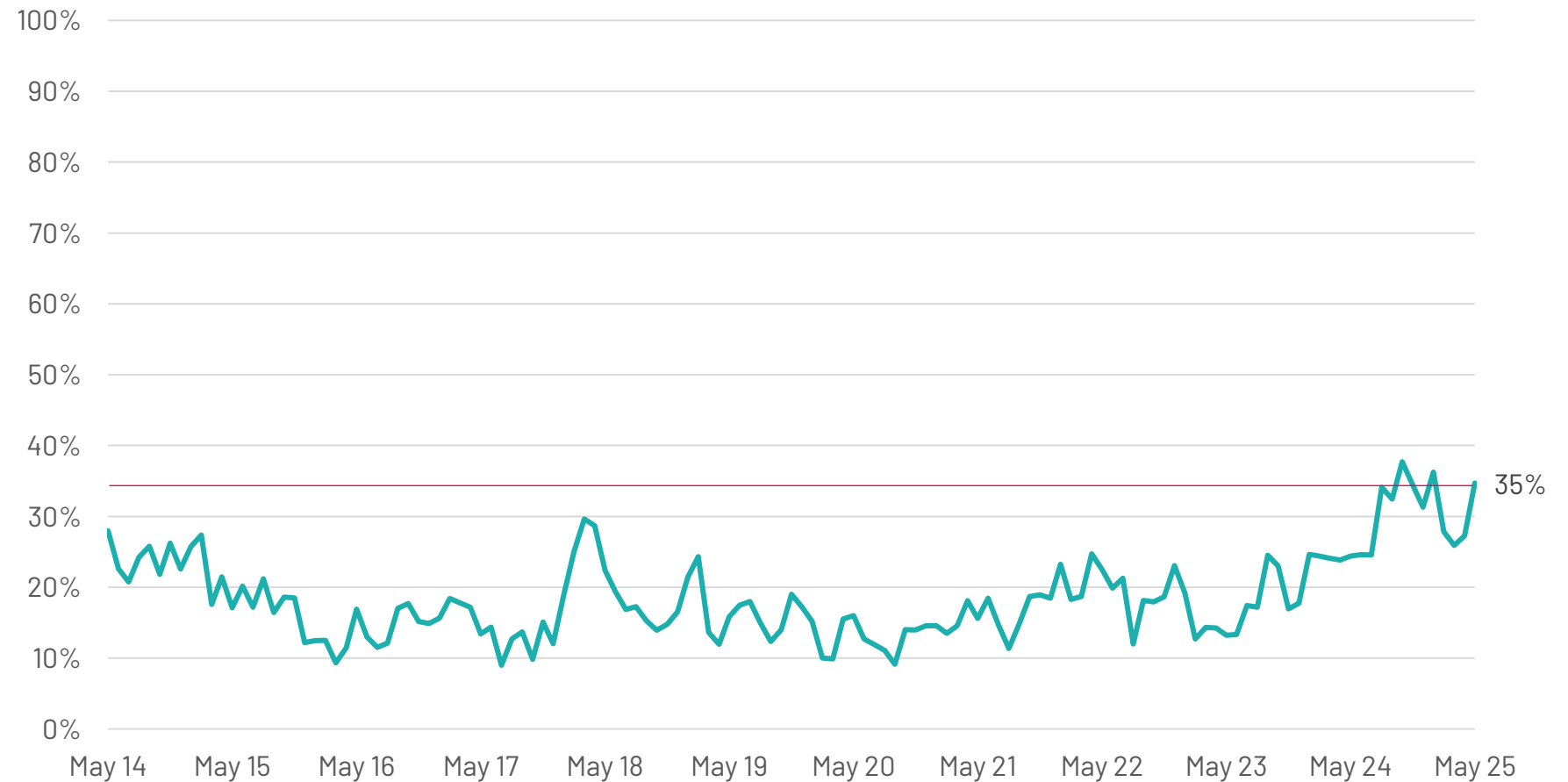
南アフリカは国全体のランキングでは下位に位置しているものの、過去10年間のスコアと比較すると好景気スコアは高いです。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

韓国国民は現在の経済状況について長らく悲観的でしたが、最近のスコアは特に低くなっています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

スペイン
%「とても良い」または「やや良い」

スペインの今月の好景気スコアは43%で、現在、過去最高スコア(2024年8月の44%)を1ポイント下回っています。同国で最も好景気スコアが高かった9回は過去12か月以内に記録されました。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

米国の好景気スコアはパンデミック以降回復に苦戦しています。

対象: 2025年4月25日から2025年5月9日までの、参加30か国の16歳から74歳までの24,737人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



調査方法

この30か国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、2025年4月25日から2025年5月9日までの間に、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18〜74歳、インドネシアとタイの20〜74歳、シンガポールの21〜74歳、その他の国の16〜74歳までの成人500人を対象に実施されました。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国における平均的な結果を反映しています。これは各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、アイルランド、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、そのうち約1,800人が対面でインタビューを受け、400人がオンラインでインタビューを受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国の75歳未満の一般成人人口の代表として考えることができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口よりも都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口の中でもより「コネクテッド」層の意見を反映しているものと見なすべきです。

インドのサンプルは、都市部の人口の大部分、つまり大都市圏の社会経済階級A、B、C、および全4ゾーンのTier 1-3の都市の階級を表しています。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最新の国勢調査データによる成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが採用されています。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では ± 3.5 パーセントポイントの精度、500件の世論調査では ± 5.0 パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのWebサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より ± 1 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

これらの調査結果の公表は現地の規則および規制に従って行われます。



THANK YOU

CONTACT:

Joseph.Nadler@ipsos.com

VISIT:

ipsos.com